

令和4年度水道事業官民連携等基盤強化支援

報告書

(水道分野における官民連携推進協議会)

令和5年3月

厚生労働省

医薬・生活衛生局 水道課

目次

1. 水道分野における官民連携推進協議会について	1
1.1. 概要	1
1.1.1. 開催目的	1
1.1.2. 開催日程	1
1.2. 協議会の実施状況	2
1.2.1. 議事進行	2
1.2.2. 会場全景および開会挨拶	3
1.2.3. プレゼンテーション	5
1.2.4. 民間事業者によるプレゼンテーション	13
1.2.5. フリーマッチング	15
1.2.6. 国における官民連携に関する取組	16
2. アンケートの実施と結果のとりまとめ	17
2.1. 事後アンケートについて	18
2.1.1. 事後アンケートの内容	18
2.1.2. 事後アンケートの集計結果	28
2.2. 総括アンケートについて	50
2.2.1. 総括アンケートの内容	50
2.2.2. 総括アンケートの集計結果	52
3. 今後の協議会開催に向けた留意事項	65
3.1. 今年度において改善を図った点について	65
3.2. 参加者について	65
3.3. 民間事業者によるプレゼンテーションについて	66
3.4. フリーマッチングについて	66
3.5. 新型コロナウイルス感染症対策について	66

1. 水道分野における官民連携推進協議会について

1.1. 概要

1.1.1. 開催目的

人口減少に伴う水需要の減少、施設の老朽化、深刻化する人材不足等の課題に対応するためには、水道の基盤強化が必要である。基盤強化の取組としては、広域連携や適切な資産管理の推進に加え、官民連携も有効な方策の一つであり、官民連携を進めるにあたっては、地域の実情や将来の事業のあり方に応じて、多様な手法の中から適切な手法を選択する必要がある。

このため、厚生労働省、経済産業省、公益社団法人日本水道協会及び一般社団法人日本工業用水協会が連携し、水道事業者等と民間事業者との連携（マッチング）促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」（以下、「協議会」という。）を開催しており、令和4年度については、4回の協議会を開催した。

1.1.2. 開催日程

令和4年度に開催された協議会の日程および参加者数は図表1に示す通りであり、山形県、福岡県、茨城県、三重県の4地域で開催した。

各回の参加者数は85～130名（内訳は水道事業者等が25～36名、民間事業者が57～92名）であり、406名（内訳は水道事業者等が116名、民間事業者が281名、その他が9名）であった。

図表1 令和4年度官民連携推進協議会の開催日程と参加者数

実施回	開催日	開催都市	開催会場	参加者数			
				水道事業者等	民間事業者	報道他	合計
第1回	10月12日	山形県山形市	山形市民会館	25	62	2	89
第2回	11月18日	福岡県福岡市	九州ビル	30	70	2	102
第3回	12月14日	茨城県水戸市	公益財団法人茨城県開発公社	25	57	3	85
第4回	2月8日	三重県津市	公益財団法人三重県労働福祉協会	36	92	2	130
合計				116	281	9	406

1.2. 協議会の実施状況

1.2.1. 議事進行

議事は以下の順序に従って実施した。なお、配付資料については厚生労働省水道課の公式ウェブサイト※に掲載している。

※「令和4年度 水道分野における官民連携推進協議会」の開催について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/shingi/kanmin_00024.html

1. 開会の挨拶
2. プレゼンテーション
 - (1) 水道事業者等における官民連携の先進的な取組
 - (2) 情報提供
3. 民間事業者によるプレゼンテーション
4. フリーマッチング
5. 国における官民連携に関する取組

1.2.2. 会場全景および開会挨拶

会場全景および開会挨拶の様子を写真1～写真4に示す。



会場全景



開会挨拶

写真1 会場全景および開会挨拶（第1回山形県）



会場全景



開会挨拶

写真2 会場全景および開会挨拶（第2回福岡県）



会場全景



開会挨拶

写真3 会場全景および開会挨拶（第3回茨城県）



会場全景



開会挨拶

写真4 会場全景および開会挨拶（第4回三重県）

1.2.3. プレゼンテーション

官民連携等に関する取り組み事例紹介として、ゲストスピーカーによるプレゼンテーションを行った。各回のゲストスピーカー、タイトル、講演の概要を図表2～図表5、プレゼンテーションの様子を写真5～写真8に示す。

図表2

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の概要（第1回山形県）

講演者	講演タイトル	講演概要
宮城県企業局 水道経営課	宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について	<ul style="list-style-type: none"> みやぎ型管理運営方式の事業区域 水道事業を取り巻く環境 公共施設等運営権（コンセッション）について 検討の経緯 運営権者（優先交渉権者により設立）について コスト削減について 料金及び料金改定の仕組み 運営権者収受額の改定ルール 水質検査体制 事故や災害時の対応 運営権者の監視体制（モニタリング概要）
酒田市上下水道部管理課	酒田市上下水道お客さまセンター包括的民間委託について	<ul style="list-style-type: none"> これまでの委託までの経過 令和2年度包括委託の概要、事業者選定までの流れ 特別目的会社（SPC）に至った経緯とスキームイメージ 包括委託の手法 事業者選定から委託開始までの流れ 業務の引継ぎ 委託後の状況について
公益社団法人 日本水道協会 水道技術総合 研究所	「広域化・公民連携情報プラットフォーム」及び「水道施設管理技士資格制度」について	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの概要 水道施設管理技士資格制度の概要
水道情報活用システム標準仕様研究会	水道情報活用システムおよび水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介	<ul style="list-style-type: none"> 水道情報活用システムの概要 システムによる水道事業者のメリット システム導入状況、アンケート結果 システムの標準仕様、水道情報活用システム標準仕様研究会について 研究会活動の紹介、入会案内

図表 3

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の概要（第2回福岡県）

講演者	講演タイトル	講演概要
宮城県企業局 水道経営課	宮城県上工下水一 体官民連携運営事 業（みやぎ型管理 運営方式）につい て	<ul style="list-style-type: none"> ・ みやぎ型管理運営方式の事業区域 ・ 水道事業を取り巻く環境 ・ 公共施設等運営権（コンセッション）について ・ 検討の経緯 ・ 運営権者（優先交渉権者により設立）について ・ コスト削減について ・ 料金及び料金改定の仕組み ・ 運営権者収受額の改定ルール ・ 水質検査体制 ・ 事故や災害時の対応 ・ 運営権者の監視体制（モニタリング概要）
飯塚市企業局	飯塚市企業局水道 施設運転管理及び 料金収納等業務 10年委託と業務効 率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚市水道事業の概要および課題 ・ 「飯塚市水道施設の運転管理及び料金収納等業務委託」の背景・目的 ・ 飯塚市水道施設運転管理及び料金収納等業務の概要 ・ 飯塚市水道事業にとってのメリット・デメリット ・ 今回の受託者選定のポイント、受託者への期待 ・ 飯塚市水道事業の持続・発展に向けた抱負・展望
公益社団法人 日本水道協会 水道技術総合 研究所	「広域化・公民連 携情報プラットフ ォーム」及び「水 道施設管理技士資 格制度」について	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラットフォームの概要 ・ 水道施設管理技士資格制度の概要
水道情報活用 システム標準 仕様研究会	水道情報活用シス テムおよび水道情 報活用システム標 準仕様研究会のご 紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道情報活用システムの概要 ・ システムによる水道事業者のメリット ・ システム導入状況、アンケート結果 ・ システムの標準仕様、水道情報活用システム標準仕様研究会について ・ 研究会活動の紹介、入会案内

図表 4

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の概要（第3回茨城県）

講演者	講演タイトル	講演概要
宮城県企業局 水道経営課	宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について	<ul style="list-style-type: none"> ・ みやぎ型管理運営方式の事業区域 ・ 水道事業を取り巻く環境 ・ 公共施設等運営権（コンセッション）について ・ 検討の経緯 ・ 運営権者（優先交渉権者により設立）について ・ コスト削減について ・ 料金及び料金改定の仕組み ・ 運営権者収受額の改定ルール ・ 水質検査体制 ・ 事故や災害時の対応 ・ 運営権者の監視体制（モニタリング概要）
一般社団法人 日本ダクタイ ル鉄管協会	「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業体の管工事に係る業務環境の再認識 ・ 管路更新を促進するための取り組み ・ 小規模簡易 DB 方式の概要 ・ 研究会（第2期）の活動状況 ・ 小規模簡易 DB 導入の課題と対応事例 ・ 令和4年度の取り組み
公益社団法人 日本水道協会 水道技術総合 研究所	「広域化・公民連携情報プラットフォーム」及び「水道施設管理技士資格制度」について	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラットフォームの概要 ・ 水道施設管理技士資格制度の概要
水道情報活用 システム標準 仕様研究会	水道情報活用システムおよび水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道情報活用システムの概要 ・ システムによる水道事業者のメリット ・ システム導入状況、アンケート結果 ・ システムの標準仕様、水道情報活用システム標準仕様研究会について ・ 研究会活動の紹介、入会案内

図表 5

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の概要（第4回三重県）

講演者	講演タイトル	講演概要
宮城県企業局 水道経営課	宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について	<ul style="list-style-type: none"> ・ みやぎ型管理運営方式の事業区域 ・ 水道事業を取り巻く環境 ・ 公共施設等運営権（コンセッション）について ・ 検討の経緯 ・ 運営権者（優先交渉権者により設立）について ・ コスト削減について ・ 料金及び料金改定の仕組み ・ 運営権者収受額の改定ルール ・ 水質検査体制 ・ 事故や災害時の対応 ・ 運営権者の監視体制（モニタリング概要）
一般社団法人 日本ダクタイ ル鉄管協会	「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業体の管工事に係る業務環境の再認識 ・ 管路更新を促進するための取り組み ・ 小規模簡易 DB 方式の概要 ・ 研究会（第2期）の活動状況 ・ 小規模簡易 DB 導入の課題と対応事例 ・ 令和4年度の取り組み
公益社団法人 日本水道協会 水道技術総合 研究所	「広域化・公民連携情報プラットフォーム」及び「水道施設管理技士資格制度」について	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラットフォームの概要 ・ 水道施設管理技士資格制度の概要
水道情報活用 システム標準 仕様研究会	水道情報活用システムおよび水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道情報活用システムの概要 ・ システムによる水道事業者のメリット ・ システム導入状況、アンケート結果 ・ システムの標準仕様、水道情報活用システム標準仕様研究会について ・ 研究会活動の紹介、入会案内



宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について



酒田市上下水道お客さまセンター包括的民間委託について



「広域化・公民連携情報プラットフォーム」及び「水道施設管理技士資格制度」について



水道情報活用システムおよび水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介

写真 5

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の様子（第1回山形県）



宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について



飯塚市企業局水道施設運転管理及び料金収納等業務 10年委託と業務効率化



「広域化・公民連携情報プラットフォーム」及び「水道施設管理技士資格制度」について



水道情報活用システムおよび水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介

写真 6

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の様子（第2回福岡県）



宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について



「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取り組み



水道情報活用システムおよび水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介

写真 7

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の様子（第3回茨城県）



宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について



「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取り組み



「広域化・公民連携情報プラットフォーム」及び「水道施設管理技士資格制度」について



水道情報活用システムおよび水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介

写真 8

「水道事業者等における官民連携の先進的な取組」および「情報提供」の様子（第4回三重県）

1.2.4. 民間事業者によるプレゼンテーション

民間事業者によるプレゼンテーションの様子を写真9～写真12に示す。



民間事業者によるプレゼンテーション



民間事業者によるプレゼンテーション

写真9 民間事業者によるプレゼンテーションの様子（第1回山形県）



民間事業者によるプレゼンテーション



民間事業者によるプレゼンテーション

写真10 民間事業者によるプレゼンテーションの様子（第2回福岡県）



民間事業者によるプレゼンテーション



民間事業者によるプレゼンテーション

写真 11 民間事業者によるプレゼンテーションの様子（第3回茨城県）



民間事業者によるプレゼンテーション



民間事業者によるプレゼンテーション

写真 12 民間事業者によるプレゼンテーションの様子（第4回三重県）

1.2.5. フリーマッチング

水道事業者と民間事業者が個別に対面して意見交換を行うフリーマッチングを実施した。フリーマッチングの様子を写真13に示す。これは水道事業者と民間事業者の名刺交換等の場を設け、今後の官民連携事業の形成に役立てるためのプログラムであり、本協議会の主なプログラムであると言える。事前に水道事業者及び民間事業者に対してマッチングの希望調査を実施し、調査結果を参考に4巡目までのマッチングを事務局にて検討・設定し、水道事業者が最多8～9回マッチングの場を設けられるようにした。マッチングの時間は、1巡あたり10分程度とした。



フリーマッチング（第1回山形県）



フリーマッチング（第2回福岡県）



フリーマッチング（第3回茨城県）



フリーマッチング（第4回三重県）

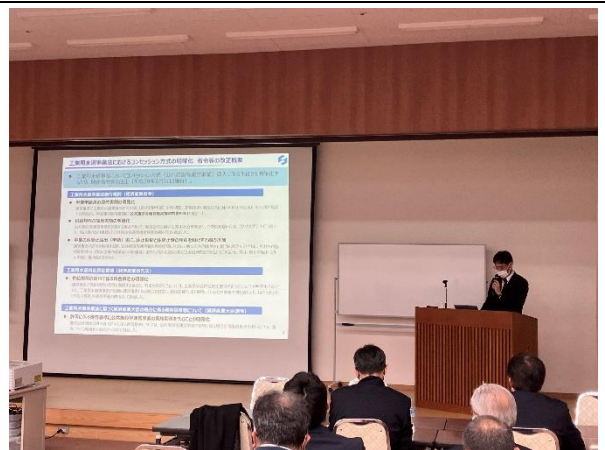
写真13 フリーマッチングの様子

1.2.6. 国における官民連携に関する取組

厚生労働省および経済産業省による「国における官民連携に関する取組」紹介の様子を写真14に示す。



国における官民連携に関する取組
(第1回山形県)



国における官民連携に関する取組
(第2回福岡県)



国における官民連携に関する取組
(第3回茨城県)



国における官民連携に関する取組
(第4回三重県)

写真14 国における官民連携に関する取組紹介の様子

2. アンケートの実施と結果のとりまとめ

今後の官民連携推進協議会の運営の参考とするため、出席者を対象としてアンケート調査を実施した。アンケート調査の概要は図表6に示すとおりであり、協議会の終了後に実施する「事後アンケート」と、年度末にまとめて実施する「総括アンケート」の2通りの方法で行った。

図表6 アンケート調査の概要

	事後アンケート	総括アンケート
趣旨	協議会に対する感想や要望等を聴取し、次回以降の改善の参考にする。	官民連携全般に対する取組み状況や、協議会の効果等を確認し、次年度以降の改善の参考にする。
実施回数	4回	1回
実施時期 および回収期間	協議会終了後、1～3日後に送付し、1週間程度で回収	年度末（2月下旬）に送付し、1週間程度で回収

2.1. 事後アンケートについて

2.1.1. 事後アンケートの内容

事後アンケート調査票を以下に示す。

令和4年度 第1回 水道分野における官民連携推進協議会（10月12日） 事後アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部局		→該当するものいづれかに○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されてのご感想をお聞かせください。

a) 参考になった		→該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 参考にならなかった		

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせください。

② 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、水道事業者等の取組に関する最新情報を聴くことができた。		→該当するものに○を入力して下さい。
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。		
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。		
d) フリーマッチングで多くの方と意見交換ができ、相談相手となる人のつながりができた。		
e) その他(具体的な内容について下欄にご記入下さい。)		
f) 特になし。		

②で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

③ 今回の協議会に参加してみて、改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション		→該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】
b) 情報提供		
c) 民間事業者によるプレゼンテーション		
d) フリーマッチング		
e) 全体		

③で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

④【この質問は民間事業者のみご回答下さい。】

事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」として配付しました。
この資料-9は有効に使われましたか。

a) 民間事業者によるプレゼンテーションの際に有効であった。	
b) フリーマッチングの際に有効であった。	
c) その他のことで有効であった。	
d) 改善したほうが良い点がある。	

→該当するものいづれかに○を入力して下さい。

④のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

⑤【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、興味を持ち、対話または、質問したいことがありましたら、
民間事業者名と質問内容をご記入下さい。
また、ご記入いただいた質問内容は該当する民間事業者にお伝えし、回答結果を後日お知らせしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。
民間事業者名とご質問の内容(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先

⑥【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

今後、取り組みたい、または取り組む予定がある官民連携手法等をお聞かせください。なお、本回答の情報は今回の協議会に出席した民間事業者に提供させていただきますので、ご承知おきください。※記入できる範囲で構いません。

	官民連携手法 (該当する手法について、プルダウンで○を選択。複数可)	想定する業務 (浄水場の運転管理、料金徴収業務等)	想定する開始時期	※想定する業務と開始時期については、予定が無ければ記載不要です。
a) 包括委託				
b) 第三者委託				
c) 指定管理者制度				
d) DB				
e) DBM				
f) DBO				
g) PFI				
h) コンセッション				
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。				

3 全般

① 貴事業者が抱える課題解決のために、水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている	
b) 考えていない	

→該当するものいづれかに○を入力して下さい。

② 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている	
b) 考えていない	

→該当するものいづれかに○を入力して下さい。

③ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他国に対するご意見等をご自由に記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

**令和4年度 第2回 水道分野における官民連携推進協議会（11月18日）
事後アンケート調査票**

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部局		―該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されたのご感想をお聞かせください。

a) 参考になった		―該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 参考にならなかった		

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせください。

② 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、水道事業者等の取組に関する最新情報を聴くことができた。		―該当するものに○を入力して下さい。
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。		
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。		
d) フリーマッチングで多くの方と意見交換ができ、相談相手となる人のつながりができた。		
e) その他（具体的な内容について下欄にご記入下さい。）		
f) 特になし。		

②で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

③ 今回の協議会に参加してみて、改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション		―該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】
b) 情報提供		
c) 民間事業者によるプレゼンテーション		
d) フリーマッチング		
e) 全体		

③で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

④【この質問は民間事業者のみご回答下さい。】

事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」として配付しました。
この資料-9は有効に使われましたか。

a)民間事業者によるプレゼンテーションの際に有効であった。		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b)フリーマッチングの際に有効であった。		
c)その他のことで有効であった。		
d)改善したほうが良い点がある。		

④のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

⑤【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、興味を持ち、対話または、質問したいことがありましたら、
民間事業者名と質問内容をご記入下さい。
また、ご記入いただいた質問内容は該当する民間事業者にお伝えし、回答結果を後日お知らせしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。
民間事業者名とご質問の内容(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先

⑥【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

今後、取り組みたい、または取り組む予定がある官民連携手法等をお聞かせください。なお、本回答の情報は今回の協議会に出席した民間事業者に提供させていただきますので、ご承知おきください。※記入できる範囲で構いません。

	官民連携手法 (該当する手法について、ブルダウんで○を選択。複数可)	想定する業務 (浄水場の運転管理、料金徴収業務等)	想定する開始時期	※想定する業務と開始時期については、予定が無ければ記載不要です。
a) 包括委託				
b) 第三者委託				
c) 指定管理者制度				
d) DB				
e) DBM				
f) DBO				
g) PFI				
h) コンセッション				
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。				

3 全般

① 貴事業者が抱える課題解決のために、水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 考えていない		

② 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 考えていない		

③ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他園に対するご意見を自由に記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和4年度 第3回 水道分野における官民連携推進協議会（12月14日）
事後アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部局		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されてのご感想をお聞かせください。

a) 参考になった		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 参考にならなかった		

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせください。

② 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、水道事業者等の取組に関する最新情報を聴くことができた。		—該当するものに○を入力して下さい。
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。		
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。		
d) フリーマッチングで多くの方と意見交換ができ、相談相手となる人のつながりができた。		
e) その他(具体的な内容について下欄にご記入下さい。)		
f) 特になし。		

②で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

③ 今回の協議会に参加してみて、改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション		—該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】
b) 情報提供		
c) 民間事業者によるプレゼンテーション		
d) フリーマッチング		
e) 全体		

③で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

④【この質問は民間事業者のみご回答下さい。】

事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」として配付しました。
この資料-9は有効に使われましたか。

a) 民間事業者によるプレゼンテーションの際に有効であった。		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) フリーマッチングの際に有効であった。		
c) その他のことで有効であった。		
d) 改善したほうが良い点がある。		

④のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

⑤【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、興味を持ち、対話または、質問したいことがありましたら、
民間事業者名と質問内容をご記入下さい。
また、ご記入いただいた質問内容は該当する民間事業者にお伝えし、回答結果を後日お知らせしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。
民間事業者名とご質問の内容(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先

⑥【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

今後、取り組みたい、または取り組む予定がある官民連携手法等をお聞かせください。なお、本回答の情報は今回の協議会に出席した民間事業者に提供させていただきますので、ご承知おきください。※記入できる範囲で構いません。

	官民連携手法 (該当する手法について、ブルダウんで○を選択。複数可)	想定する業務 (浄水場の運転管理、料金徴収業務等)	想定する開始時期	※想定する業務と開始時期については、予定が無ければ記載不要です。
a) 包括委託				
b) 第三者委託				
c) 指定管理者制度				
d) DB				
e) DBM				
f) DBO				
g) PFI				
h) コンセッション				
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。				

3 全般

① 貴事業者が抱える課題解決のために、水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 考えていない		

② 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 考えていない		

③ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他園に対するご意見を自由に記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

**令和4年度 第4回 水道分野における官民連携推進協議会（2月8日）
事後アンケート調査票**

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部局		— 該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されてのご感想をお聞かせください。

a) 参考になった		— 該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 参考にならなかった		

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせください。

② 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、水道事業者等の取組に関する最新情報を聴くことができた。		— 該当するものに○を入力して下さい。
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。		
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。		
d) フリーマッチングで多くの方と意見交換ができ、相談相手となる人のつながりができた。		
e) その他(具体的な内容について下欄にご記入下さい。)		
f) 特になし。		

②で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

③ 今回の協議会に参加してみて、改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション		— 該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】
b) 情報提供		
c) 民間事業者によるプレゼンテーション		
d) フリーマッチング		
e) 全体		

③で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

④【この質問は民間事業者のみご回答下さい。】

事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」として配付しました。
この資料-9は有効に使われましたか。

a) 民間事業者によるプレゼンテーションの際に有効であった。		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) フリーマッチングの際に有効であった。		
c) その他のことで有効であった。		
d) 改善したほうが良い点がある。		

④のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

⑤【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、興味を持ち、対話または、質問したいことがありましたら、
民間事業者名と質問内容をご記入下さい。
また、ご記入いただいた質問内容は該当する民間事業者にお伝えし、回答結果を後日お知らせしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。
民間事業者名とご質問の内容(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先

⑥【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

今後、取り組みたい、または取り組む予定がある官民連携手法等をお聞かせください。なお、本回答の情報は今回の協議会に出席した民間事業者に提供させていただきますので、ご承知おきください。※記入できる範囲で構いません。

	官民連携手法 (該当する手法について、ブルダウんで○を選択。複数可)	想定する業務 (浄水場の運転管理、料金徴収業務等)	想定する開始時期	※想定する業務と開始時期については、予定が無ければ記載不要です。
a) 包括委託				
b) 第三者委託				
c) 指定管理者制度				
d) DB				
e) DBM				
f) DBO				
g) PFI				
h) コンセッション				
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。				

3 全般

① 貴事業者が抱える課題解決のために、水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 考えていない		

② 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている		—該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 考えていない		

③ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他園に対するご意見等をご自由に記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和4年度 水道分野における官民連携推進協議会
総括アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

このアンケートは、今年度を実施した官民連携推進協議会に参加した水道事業者・民間事業者・団体等を対象として、協議会や官民連携全般について調査をさせていただくものです。
団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

■ 基本情報

水道行政担当部局		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

① 協議会後に、水道事業者等又は民間事業者の方と連絡をとられましたか。

a) 連絡をとった。		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい
b) 今後、連絡をとる予定がある。		
c) 連絡をとる予定はない。		

①のa)またはb)に「○」をつけられた方はどのような内容について連絡されましたか(する予定ですか)

①で「a)連絡をとった」と回答された方に伺います。何事業者と連絡をとられましたか(大体の数で結構です)。

水道事業者等		事業者
民間事業者		事業者

①で「b)今後、連絡をとる予定がある」と回答された方に伺います。何事業者と連絡をとる予定ですか(大体の数で結構です)。

水道事業者等		事業者
民間事業者		事業者

①のc)に「○」をつけられた方は、理由をお聞かせ下さい。

② 貴事業者が抱える課題解決のために、本協議会で知り合った水道事業者等又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) 考えていない。		

③ 本協議会を契機として、官民連携の具体的な取組につながったケース(検討段階も含みます)はありますか。

a) ある。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) ない。		

③で「a)ある」と回答された方に伺います(④～⑥)。

④ 何件ありますか。 件

⑤ どのような官民連携手法ですか。当てはまるものに○をつけて下さい。

a) 包括委託	
b) 第三者委託	
c) 指定管理者制度	
d) DB	
e) DBM	
f) DBO	
g) PFI	
h) コンセッション	
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。	

⑥ 本協議会を契機として官民連携の動きにつながったケースについて、具体的な事業名及び内容を差し支えない範囲でご記入下さい。

⑦ 取組を進めようとしたが、残念ながら官民連携につながらなかったケースはありますか。

a) ある。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) ない。		

⑦で「a)ある」と回答された方に伺います。

⑧ 進まなかった理由について差し支えない範囲でご記入下さい。

⑨ 官民連携ではありませんが、水道事業者同士あるいは民間事業者同士での連携の動きが本協議会を契機に進んだケースがあればご記入下さい。

⑩ 本協議会に限らず、官民連携事業に取り組む水道事業者や民間事業者、又は国より、取組紹介や施策の解説を受けられる機会がある場合に、聞いてみたい取組(具体的な事業体名、事業名等)や施策があれば、ご記入ください。

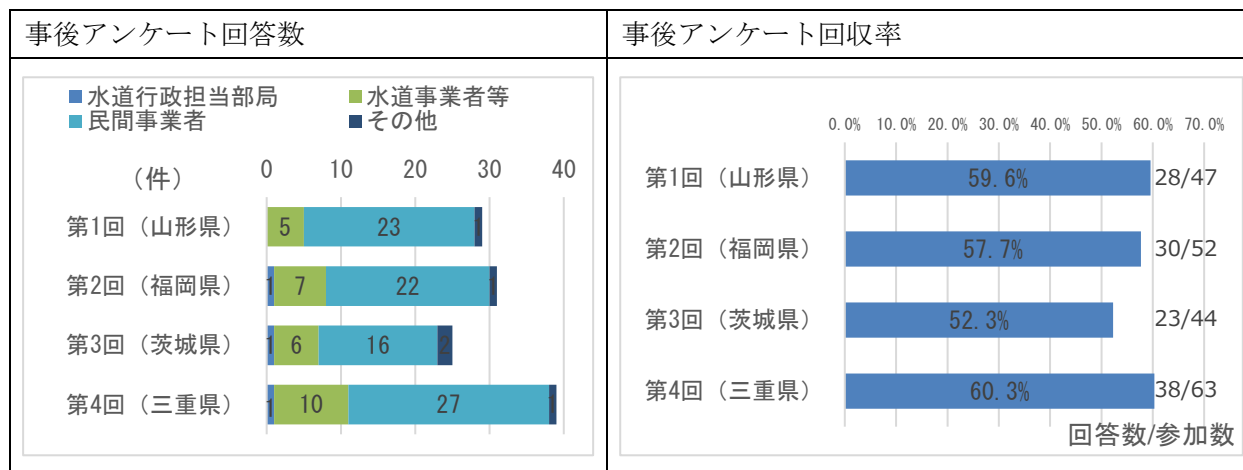
⑪ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他園に対するご意見でも何でも結構ですので、自由にご記入下さい。

2.1.2. 事後アンケートの集計結果

1) 回答率および回収率

事後アンケートの回答数と回収率を図表7に示す。参加団体数44～63団体に対して、回答のあった団体数は23～38団体であり、回収率は52.3～60.3%であった。

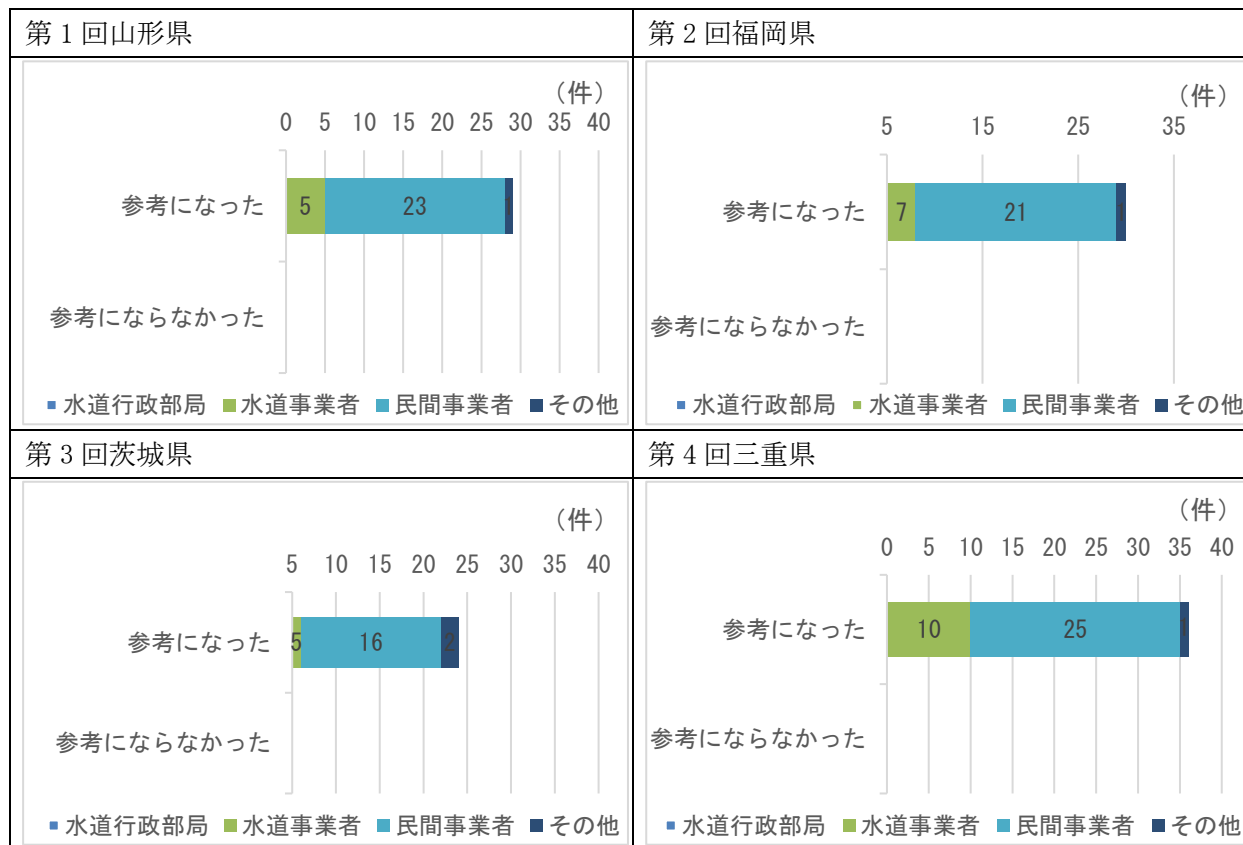
図表7 事後アンケートの回答数及び回収率



2) 当日の協議会について

協議会に参加しての感想は図表8に示すとおりであり、「参考になった」という回答のみであった。

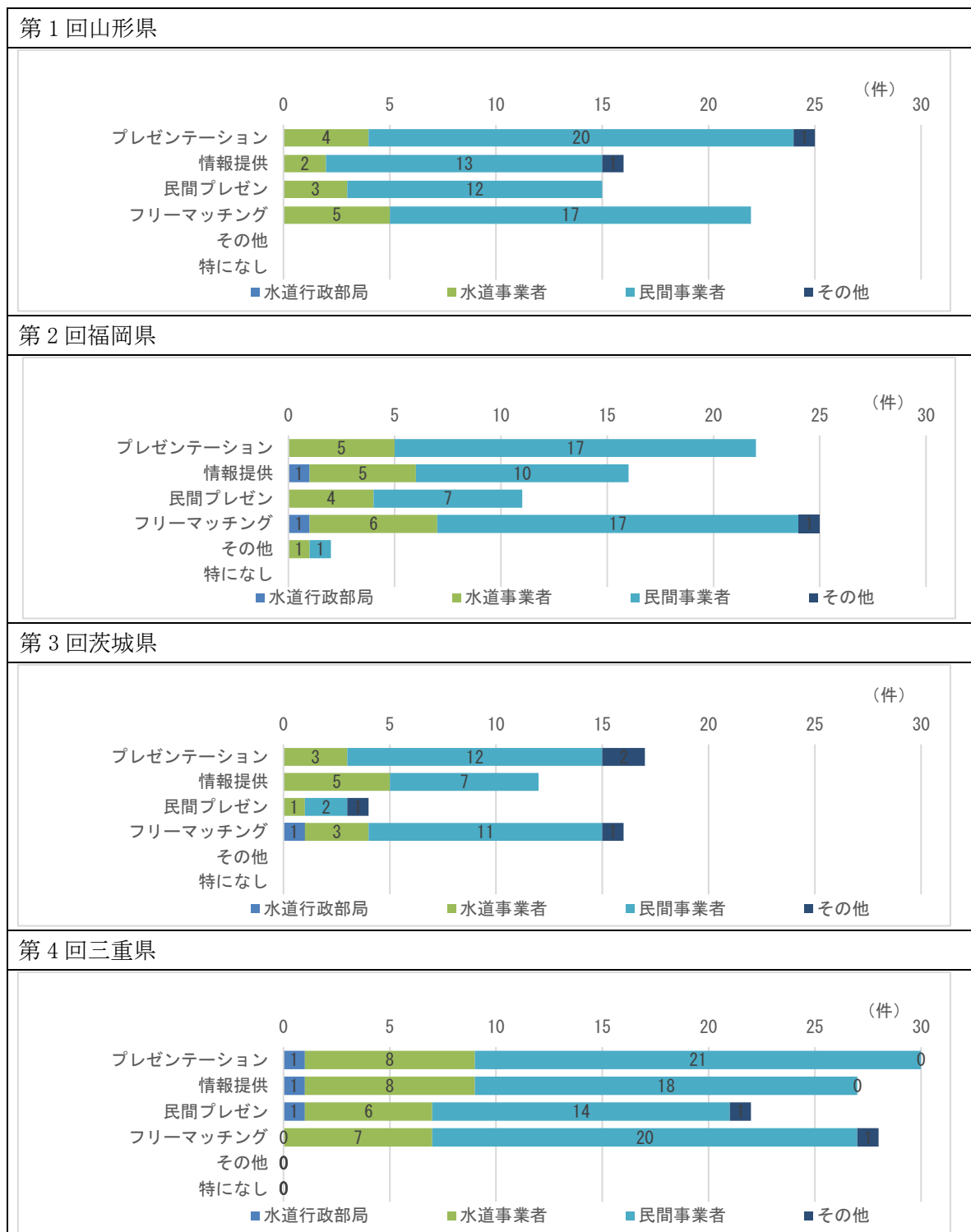
図表8 当日の協議会に参加されての感想



3) 当日の協議会に参加して良かった点について

協議会に参加して良かった点（4つのプログラム）を図表9に示す。4回中3回の協議会においてプレゼンテーションを選択した回答が最も多く、協議会の主なプログラムであるフリーマッチングがほぼ同数であるが、更なる改善が必要と考えられる。

図表9 当日の協議会に参加して良かった点

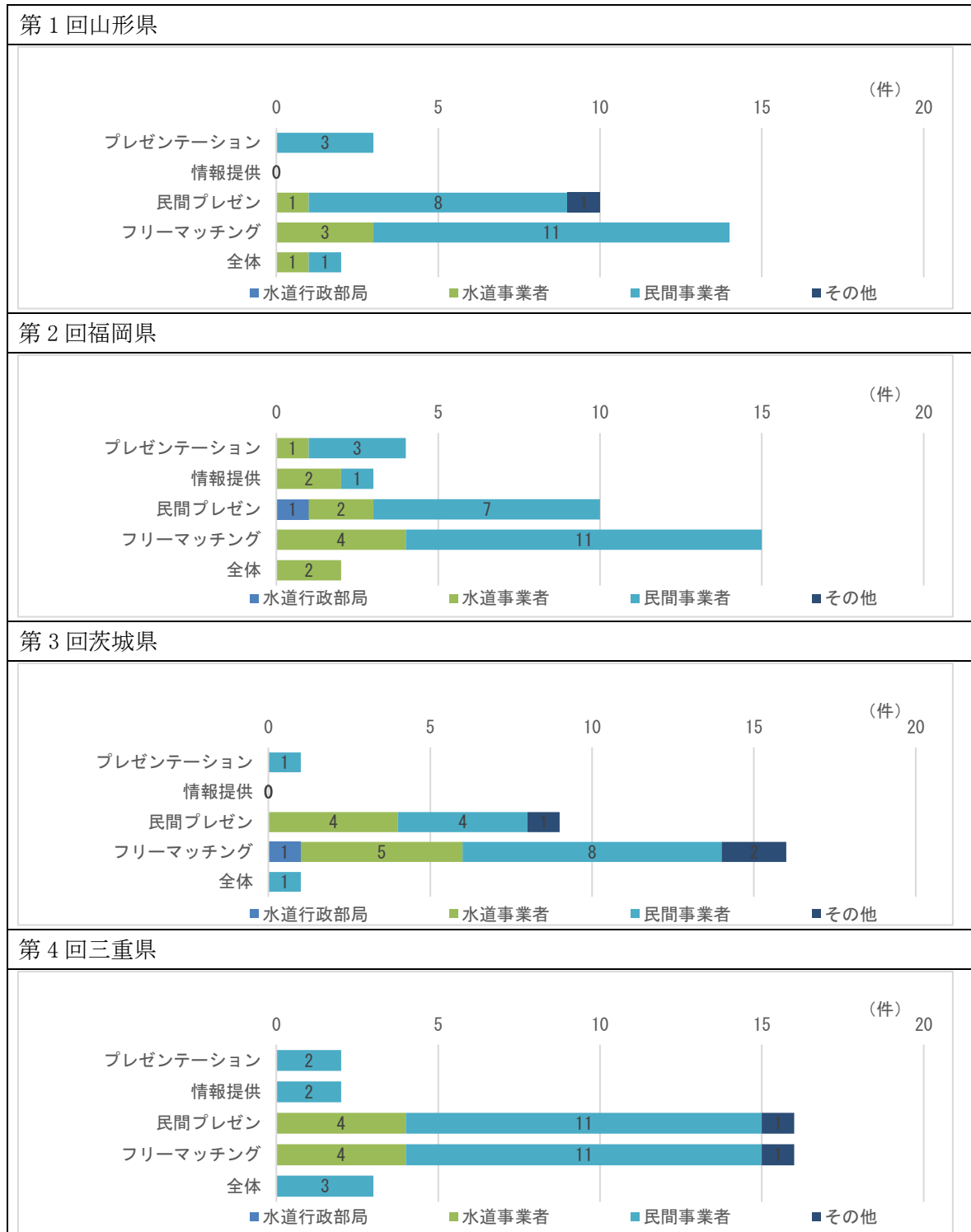


4) 当日の協議会の改善した方がよいと思う点について

当日の協議会で改善した方がよいと思う点については、図表 10 に示すとおりである。民間事業者によるプレゼンテーションやフリーマッチングを選択した回答が多かった。

具体的な改善の内容（自由記述）を図表 11～14 に示す。

図表 10 当日の協議会の改善した方がよいと思う点について



図表 11 当日の協議会の改善した方がよいと思う点について（第1回山形県）

自由回答	分類
民間事業者によるプレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に資料がデータ配布されていたので、当日のプレゼンテーションは不要ではないかと感じた。その分の時間をフリーマッチングに回していただきたかった。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回から「会社概要ではなく事例紹介」「発表時間は1分間」と大きく2点の変更があったが反映されていない企業が散見された。発表時間1分間はひとつの事例を紹介するには短すぎると感じたので、次回は従前通り2分間として頂きたい。 ・ 1社への割り当て時間が短く、事前に資料配布があるので不要ではないかと思う。 ・ 民間事業者によるプレゼンテーションはどうしても時間をオーバーしてしまうので割愛して良いと思った。 ・ 時間の関係上致し方ないことは承知しておりますが、プレゼンテーションの時間（1分）は少々短い印象を受けた。フリーマッチングの導入で民間企業からの自己紹介を行うと思うので、そこに統合するのも一つの案ではないかと感じた。 ・ 時間をまもっていないプレゼンが多い。1分を目安とするなら、75秒経過で強制終了させる等すべきではないか。もともと、1分は難しいと考えていたなら、2分とかにして、2分超過で強制終了させる等にしないと、時間を守ろうとした参加者に対して失礼ではないか。 ・ プレゼンテーションの時間をもう少し長くしていただければと思った。自社の発表時間もそうだが、他の民間事業者の説明ももう少し詳しく聞ければと思った。 ・ プレゼンテーションは1分程と割り当てられているが5分は欲しい。フリーマッチングで順番待ちにより繋がりをもちたい行政担当と話をすることができなかった。 ・ 短時間のプレゼンテーションでは意味が少ないと思われた。 ・ プレゼンテーション時間をもう少し長くすることを希望する。 ・ 民間事業者のプレゼンテーションは、1社1分間と時間が短く添付資料を見ればわかる内容の発表であるため不要と考える。 	民間事業者
フリーマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回あたり10分と時間が短く、具体的な相談・意見交換に至らないまま終了するのがほとんどだった。1回あたりの時間をもう少し長くしていただければと思う。組み合わせが予め決められた最初の4回以降は、民間事業者が希望する事業体に並ぶ流れとなり、希望していない民間事業者と話すことも多かった。希望調査を踏まえた組み合わせをより多く指定していただけるとありがたい。 ・ 多くの企業と意見交換がしたかった。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ パーティションがあることでお互いの声が非常に聞きづらかった。パーティション聞こうと身を乗り出しながら会話することとなり本末転倒でしたのでパーティションを撤廃してはかがか。 ・ フリーマッチングの時間が不足しており、全ての事業体との面談が出来なかった。 ・ もう少し多くの事業体様と意見交換ができるように、多くの時間の確保を望む。 ・ 全体をフリーマッチングにあてていただくようにしてほしい。 	民間事業者

<ul style="list-style-type: none"> 自治体のマッチングで民間事業者にヒアリングしたい事項（課題）と、民間事業者も対応可能な範囲が異なってしまった印象を受けた。具体的には弊社は電気メーカーであるため、管路更新に資する技術の提案は困難だが、官民連携推進協議会に参加されている多くの自治体からは管路に関する課題についてのヒアリングであったため、回答に難儀した。解決する一例として、開催を「管路系」「施設系」「その他」等に分け、それぞれ課題を感じている自治体に参加していただくことで、民間事業者側もより具体的な情報提供／共有が可能になると考えられる。フリーマッチングの時間を可能な限り確保いただけるとありがたい。今回、講演→フリーマッチング→講演というプログラムであったため、次回以降は講演とフリーマッチングのみとし、前半後半に分けて実施いただくと良いと考える。 意見交換できなかった自治体様がいくつかあったため、フリーマッチングの時間をもう少し長く設ける事ご検討いただければありがたい。 フリーマッチングにおいて限られた時間ではあるが、できる限り多くの参加者様と対面できればなおよい。当初は4番目までは記載があったが、それ以降は適宜並んでの対応であったため、待ち時間が多かった。 フリーマッチングのバランスを改善いただきたい。水道事業者の希望や参加数もあるかと思うが、民間事業者の1から4巡目のマッチング数が民間事業者ごとに偏りがあるように思われる。4巡目以降の時間も十分ではなかった。遠方から出席している方もいらっしゃると思うので、今後検討いただきたい。今回、プレゼンテーション時間を1分にしたのであれば、その分民間事業者のフリーマッチングを充実していただくことを希望する。 	
全般	
<ul style="list-style-type: none"> 内容が盛り沢山であり充実していた一方で、時間配分が多少窮屈であったと感じた。 駐車場の案内（場所・料金等）が開催文書等にあればなおよいと感じた（隣接駐車場はすでに満車であった）。 	水道事業者等

図表 12 当日の協議会の改善した方がよいと思う点について（第2回福岡県）

自由回答	分類
プレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> 事前配付されている資料で概ね内容は把握できるため、説明を要所だけに絞ってもよいのではないか。 	水道事業者等
情報提供	
<ul style="list-style-type: none"> 水道施設整備事業において、各種手法（従来型と官民連携）の傾向と割合の情報があれば提供頂きたい。（例：事業費10億円以上の事業で導入検討した結果等） 	水道事業者等
民間事業者によるプレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> 1分では時間が短く、概要がつかみづらいものがあった。 	水道事業者等

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1社1分間と時間が短く添付資料を見ればわかる内容の発表であるため不要と考える。 ・ 配布資料の内容が充実しているため、制限時間1分でのプレゼンを省略してもよいと感じた。 ・ 発表時間1分間はひとつの事例を紹介するには短すぎると感じたため、次回は従前通り2分間として頂きたい。WORD (PDF) での提案資料の投影はプレゼンしにくいことと、見ている側も何に注目すればよいか分かりづらいと思料する。実際に画面を触らずにお話されていた企業の方が大半だったので、改善された方が良いかと思料する (PPT×2等)。 ・ プレゼンテーションを行う民間事業者には、本年度の協議会におけるプレゼンテーションの位置づけを明確にしたい。 ・ 時間の関係上致し方ないことは承知しているが、プレゼンテーションの時間 (1分) は少々短い印象を受けた。フリーマッチングの冒頭で民間企業からの自己紹介を行うと思うので、プレゼンテーションの時間をフリーマッチングの時間に振り分けることが良いかと考える。 ・ 民間のプレゼンが1分間というのは、非常に短いと思われる。5分程度が望ましいのではないか。 ・ 昨年度は、フロアを前方と後方の2カ所に分けて実施されていたが、その手法も再検討いただきたい。 ・ 配布された資料の内容を読み上げているだけなので、現地で聞いていても、インターネット上で確認しても情報としては同じ。資料内に記載のない情報を可能な範囲でプレゼンテーションしてほしい。 	民間事業者
フリーマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1社あたり10分は短すぎるため、その他で短縮した時間を充てて1社あたり少なくとも15分程度は確保していただきたい。また、今回の自治体のブースに民間事業者が並ぶ手法のみであると、自治体が希望する民間事業者とのマッチングの機会を確保できないため、自治体から民間事業者へのフリーマッチングの時間も設けていただきたい。 ・ 1人で参加していたため、連続して対応することが大変だった。(短時間でもよいので途中で休憩を挟んで頂くと記録等の整理が可能。) ・ フリーマッチングの時間が長く感じ、もう少し短くした方がよいのではと感じた。 ・ (会場の関係で難しいことは承知していますが) プレゼンテーションからフリーマッチングへの配置換えの際、待機する場所に限りがあり、かなり密の状態であった。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 官が民を選べる仕組みも欲しい。 ・ パーティションがあることでお互いの声が非常に聞きづらかった。互いの声をよく聞こうと身を乗り出しながら会話することとなり、本末転倒でしたのでパーティションを撤廃してはいかがか。 ・ マスク、パーティション、周囲の会話で、相手の話がほとんど聞き取れなかった。時節柄しかたないことだとは思いますが、何かしらの対策をお願いしたい。 ・ 参加水道事業者が増えていただけるとありがたい。 	民間事業者

<ul style="list-style-type: none"> ・ 「民間事業者によるプレゼンテーション」はやめて、資料の提示のみとし、「フリーマッチング」の時間を増やしたほうが、水道事業者及び民間事業者の双方に有効的であると感じている。 ・ 時間の都合もありマッチングできない水道事業者が必ず生まれる。そのため、協議会後にも接触を行えるような、方策の導入を希望する。例えばだが、参加者のみへメールアドレス等連絡先の共有を提案したい。 ・ 対話のセッティングは事前に知らせてほしい。第1回は事前に配信されていた。又、割り振りが公平でない印象を受けた。 ・ プレゼンテーションでは時間が1分間ということもあり、事業者様に合った有効なものとするのが困難であった。プレゼンテーションについては、事前提出する書面でも対応でも良いかと思料する。 ・ より多くの事業者様とマッチングできるような仕組み作りをご検討いただきたい。 ・ マッチング選定方法の改善やマッチング回数の増加、もしくは選定ではなく参加者全員とお話できるような仕組み等改善いただければ、事業者様・民間企業双方にとってさらに有意義なものになるのではと感じた。 ・ 各自治体様の保有設備情報（延長、口径、管種、更新率 等）があるとより具体的な提案がしやすい。 ・ フリーマッチングは合間の休みなしで行われたため、水道事業者の方の休憩時間が必要かと思った。 ・ 限られた時間でありますので、参加水道事業者様の皆様に対して面談ができない先もあった。もう少し時間があるとよい。（5分サイクルで回転率をあげる等） ・ フリーマッチングで組み合わせを決定する際、水道事業者から希望順位と合わせて「民間事業者に聞きたいこと」を集め、民間事業者に事前通知することで民間事業者側からより適した情報を水道事業者へ提供することが可能になると考えられる。 ・ 	
全般	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に時間が足りない感じがした。 	水道事業者等

図表 13 当日の協議会の改善した方がよいと思う点について（第3回茨城県）

自由回答	分類
プレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者によるプレゼンテーションやフリーマッチングに時間を割いた方が良いと感じた。プレゼンテーションや情報提供はもっと短くした方が良いと思う。 	水道事業者等
情報提供	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道施設整備事業において、各種手法（従来型と官民連携）の傾向と割合の情報があれば提供頂きたい。（例：事業費10億円以上の事業で導入検討した結果等） 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者のプレゼンに関しては、事前資料が詳細にあり、発表時に追加の説明がないのであれば特に必要性を感じなかった。もしくは、事前のフリーマッチング業者希望を記載 	水道事業者等

<p>する際に、簡易な民間業者情報のみでなくプレゼン時の資料があれば当日のプレゼンは必要ないとする。</p>	
<p>民間事業者によるプレゼンテーション</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者によるプレゼンテーションは、やはり各社1分だと短いような気がしたので、事前配布資料があれば必要がないかもしれない。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> 配布資料と同様の説明なので、不要ではないか。 水道事業者のプレゼンもあってもいいと思う。よりフリーマッチングに入り易いと感じた。 民間事業者によるプレゼンテーションは、毎回同じ内容を発表されている会社もあり、また、1分間では十分に内容を伝えきれない。水道事業者様は参加前に読み込んでいると思うので、プレゼンを止めてフリーマッチングの時間枠を広げてはいかがか。 1分という制限時間の中では各社説明が難しそうであり、逆に時間ももったいないように感じた。フリーマッチングに時間を割いてほしいという希望がある中でやむを得ない面もあるようであったが、3分ぐらい時間を与えてあげて欲しい印象であった。 民間のプレゼンテーションと顧客の求めている課題が本当にマッチしているのか疑問があった。課題に対する解決策をプレゼンする方式にした方がプレゼンも絞れるし効果的ではないかと思った。 	民間事業者
<p>フリーマッチング</p>	
<ul style="list-style-type: none"> フリーマッチングは、社会情勢等を考慮して官と民の間にパネルが設置してあるのは理解しているが、会場が一気に賑やかになるため相手の声が全く聞こえない業者がいくつかあった。隣との間隔を広くとる等の工夫が必要と思う。 フリーマッチングの際、会場内が騒がしく、相手方の話が聞こえないことが多かった。(感染対策の飛沫防止板もあって余計に聞こえなかった。) 会場の都合もあると思うが、2水道事業者ずつくらいで、別途小会議室で座席を配置する等の対応があってもよいと思う。 講演の時間をもう少し削ってプレゼンテーションやフリーマッチングの時間を増やした方が良いと感じた。個々の業者との対話の時間が10分間と短時間で設定されており、必要な情報を得るのに不十分だった。 民間事業者によるプレゼンテーションについては各社1分程度であり、資料配布とマッチングで代替できると思われることから、プレゼンを省略し、マッチングの時間を増やした方が良い。 フリーマッチングでは、事前に提出した「水道事業者の課題一覧」に記載した内容に合致した民間事業者と話をするものだと思っていたので、分野外の事業者の方から次々と営業を掛けられ、刺激的ではありましたが若干面食らった。開催通知にそのように一文記載していただくと、出席にあたってより良い人選ができたかもしれない。 1回あたりのフリーマッチングによる意見交換の時間が短いので、もう少し長くした方が良いと考えられる。 	水道事業者等

<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催案内にあるフリーマッチングの説明では、4 巡目まで割り当てが明記されていたが 4 巡目以降はどのような運営になるか未記載だった。そのため割り当てを終えた企業は次のマッチングはないと考えて退室もあった。今後は「5 巡目以降は任意フリーマッチングで〇時まで行う」等明記された方が良いと思う。 ・ 事業者様のより多くの参加することにより官民連携のマッチングをより加速できるのではないか。 ・ 事業者からのフリーマッチングへのリクエストをもう少し早めに聞き取りしてほしい。 ・ 当日に、水道事業者に対するフリーマッチング追加希望調査を新たに実施されたのは非常に良かった。民間事業者にも、その結果を共有いただける仕組みがあれば、更に良くなることと思う。 ・ 自治体側から 5 回目以降に改めてマッチング希望ある場合にアレンジをいただいた運用はミスマッチを防ぎ、有難い。 ・ マッチング希望調査の希望順位は水道事業者の課題一覧を確認の上順位決定したと認識しているが、実際のフリーマッチングでは、事前の希望順位が反映されていないように感じた。また、民間事業者に比べ、水道事業者の出席が少ないと感じる。 ・ フリーマッチングの回数をもう数回増やして頂きたい。 ・ より多くの事業者様とマッチングできるようにさらなる改善をいただければありがたい。 (例えば、4 巡目まで指定だが連続面談の回避(移動等を考えると面談時間が前後してしまう)、抽選ではなく全事業者様との面談等) ・ フリーマッチングの時間が短く、事業者様のお悩みを十分にうかがうことができなかった。また、事業者様からお話したいという第 2 部では、すでに他の民間事業者が並んでおり、タイムアップしてお話できないということもあった。そのため、フリーマッチング又はその他時間に事業者様と民間事業者との時間が十分に確保できるような運営方法をご検討いただきたい。 ・ 組み合わせが決まっている 4 回のフリーマッチングの後に 4~5 回ほど自由に自治体の方と面談できたが、このことが次第に記載がないので上記と合わせて記載頂くと当日のスケジュールがより明確になると思う。 ・ フリーマッチングにおいて、マッチングされていない場合、希望する自治体との対話が 1 件で終わってしまう場合があるので、改善していただきたい。(民間事業者のプレゼンを止めて、フリーマッチングの時間枠を広げる等。) 	民間事業者
全般	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の協議会では前半と後半に休憩を設け、事業者様のご希望を聞かれるという試みについてより面談の機会を増やすことは良かったように感じる。 ・ 当日の次第で目安の時間を書いて頂きたい。 	民間事業者

図表 14 当日の協議会の改善した方がよいと思う点について（第4回三重県）

自由回答	分類
民間事業者によるプレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に資料は確認して参加するため、民間事業者によるプレゼンテーションは不要と考える。（事務局からの企業名の紹介のみで十分） ・ 1分という短い中で説明に苦慮する民間事業者もいたもので、事前に収録したものを再生する方がスムーズに運営できると思った。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1社1分間と時間が短く添付資料を見ればわかる内容の発表であるため不要と考える。 ・ 1分間は圧倒的に短いと感じた。2分以上は欲しいと思う。ただし、PDFからパワポにしたのは見やすかった。 ・ 持ち時間1分は短い印象を受けた。フリーマッチングの冒頭で民間企業からの自己紹介を行うと思うので、民間企業によるプレゼンテーションの時間を、フリーマッチングに振り分けることが良いかと考える ・ 1分間は短い。 ・ 資料に記載されている情報量が多いが、プレゼンが資料の読み上げになっていたため、プレゼンを聞いても資料以上の情報が得られなかった。可能な範囲で、資料に記載のない情報を提供していただけると、より有意義な時間になると感じる。 ・ 各社1分と短く、事前に資料を確認いただく等でも代替できるかもしれない。 ・ 毎回同じ内容を発表されている会社もあり、また、1分間では十分に内容を伝えきれない。水道事業者様は参加前に読み込んでいると思うので、プレゼンを止めてフリーマッチングの時間枠を広げてはいかがか。 ・ プレゼン1分だと説明も不十分なので、配布資料だけでよいのではないか。 ・ プレゼン1分間では短すぎるためもう1分追加していただきたい。1社2名と聞いていたが、明らかに3名以上参加している民間事業者が出席していた。 ・ 事前の資料配布だけでも良いのかと感じた。 	民間事業者
フリーマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に決められている民間事業者以外とのフリーマッチングについて、水道事業者の課題とは関係がない民間事業者からの営業がメインになってしまい、本来の趣旨と異なっていた。 ・ フリーマッチングの1社あたり10分の上限については、水道事業者側は連続となることもあり、時間が気になってじっくり話しが出来ない印象を受けたため、もう少し長くしてもよいかと思う。 ・ フリーマッチングは、水道事業者と民間事業者を繋ぐ場だと考えてはいるが、10分という時間はあまりに短い。 ・ 5巡目以降のフリーマッチング希望調査書は事前にいただいた方がより有意義であると考ええる。 	水道事業者等

<ul style="list-style-type: none"> ・ フリーマッチングは大変有意義な場ですが、いつも時間が足りなくなるため民間事業者のプレゼンテーションを廃止して、その時間をフリーマッチングに使えばより有意義な会になると考える。 ・ プレゼンが1分であれば物足りないのでマッチング時間に振り分けていただきたい。 ・ 官民連携をまったく考えていない事業体もあり、論点がうまくかみ合わなかった。 ・ 人気の自治体ではフリーマッチングの順番待ちのルールが無く何番目か分からなかった。順番札の様なものがあった方が良いのではないか。 ・ フリーマッチングで2団体となった民間企業と1団体となった民間企業があるが、不公平感があるように思われる。 ・ 今回2段階となったが、従来と同様に、並んだ方が無駄な時間がなくて良いと思われる。 ・ パーティションがあるため、お互いの声が非常に聞きづらいと感じる。不織布マスク着用の際は取り外せることにしたらいかかがか。 ・ マッチングでより建設的な意見交換を実施するため、水道事業者から希望順位と合わせて「民間事業者に聞きたいこと」を集め、民間事業者に事前通知することで民間事業者側からより適した情報を水道事業者へ提供することが可能になると考えられる。（マッチング決定時期を早め、相手が決定した段階で何を聞きたいかを再度アンケート） ・ 事前設定していただいたマッチング（今回は4回目まで）以外の時間が4~50分程度しかないので、多くの自治体とマッチングすることが困難であったと感じている。フリーマッチングの時間を伸ばしていただくこと、また可能であれば参加自治体の増加を検討いただけるとありがたい。 ・ 水道事業者様の課題について、できるだけ詳しく開示してほしい。 ・ フリーマッチングでの意見交換について、「会場内の雑音」「感染症拡大防止対策用の仕切り」「マスク」で声が聞き取りづらかった。声の大きさには個人差があるため、意見交換のしやすい環境もご考慮いただきたい。 ・ プレゼンテーション（先進的な取組紹介や情報提供）は非常に有効と考え、十分な時間を確保できていると考える。しかし、13:00から17:00までの開催時間の場合、フリーマッチングにも十分な時間を確保していただきたいことから、民間事業者によるプレゼンは不要ではないかと考えた。民間事業者からの提案資料は事前に配布されることから、フリーマッチングの際、水道事業者が興味のある民間事業者を指名していただくことでの対応はいかかがか。 ・ フリーマッチングにおいて、マッチングされていない場合、希望する自治体との対話が1件で終わってしまう場合があるので、改善していただけないか。（民間事業者のプレゼンを止めて、フリーマッチングの時間枠を広げる等。） ・ フリーマッチングの際、会場がかなり密な状態となり（出入りも含めて）会場外に待機部屋等あれば良かった。階段等で待っている方も多かった。また確定していたマッチング後のフリーマッチングの仕組みが解りづらかった。自治体からマッチング希望業者を元に実施とありましたが、空いている自治体への訪問が先着なのか決まっているのか不明確であったので訪問しづらかった。 	<p>民間事業者</p>
---	--------------

<ul style="list-style-type: none">・ フリーマッチングは時間が足りなかったように思うので、そちらの時間を増やした方が良いと感じた・ フリーマッチングの時間を増やしていただきたい。・ 水道事業者等の課題調査票を参考にマッチングに臨んでいるが、水道事業者によっては、課題調査票の中身が薄く、要望が読み取れないことがある。そのため、マッチングにおいて、相互で不一致となるケースがある。水道事業者等には、可能な範囲で、なるべく調査票は具体的に記入いただきたい。・ 第3回と同様に、当日に事業体へマッチングアンケート調査を行うのは非常に有効だと思う。・ できれば、スクリーンやホワイトボード等に、集計内容を公開してもらえると助かる。 (待機席へ着座する先の検討材料になる、移動のため途中で退出する方への配慮等)	
---	--

5) 資料「水道事業者の課題一覧」について

資料「水道事業者の課題一覧」が有効に利用されたか、具体的な改善の内容（自由記述）を図表15～18に示す。

図表 15 資料「水道事業者の課題一覧」の改善した方がよいと思う点について（第1回山形県）

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業者の課題の項目に聞きたい分野について項目で選択できる欄を設けていただけるとわかりやすく官民ともに時間を有効に使えると思う。 自治体ごとに記入の情報量が異なるため、現在の記述欄に加えて「特に聞きたい情報」のような項目を選択式で記載いただくことで、自治体側も記入しやすく、事業者側も提供する情報がクリアになるのではないかと考える。 聞きたいことは大いにあったが、フリーマッチング自体がほとんど出来ていない。民間事業者が多くマッチングできるように改善いただきたい。 	民間事業者

図表 16 資料「水道事業者の課題一覧」の改善した方がよいと思う点について（第2回福岡県）

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> 自由記述欄の他に選択式の回答を用意されても良いかと思料する。（例：(1)施設更新・管路更新・施設管理・管路管理・料金関連・その他 (2)民間活用を検討中・すでに実施済みかつ満足・すでに実施済みだが改善したい・現状で問題ない、(3)説明欄（別発注の運転管理業務委託と、料金徴収関連業務を一本化したい等））また、記述例を記載された方が、事業者様も具体的に書きやすいかと思料する。 課題調査票は課題が簡略化されて記載されており、それを基にフリーマッチングで課題の深堀をすることができた。 5巡目以降は「フリー」だったが、1～4巡目でマッチングできたのが1事業者であったため、ほとんど会話をすることが出来なかった。 ヒアリングの順番が決まっている1～4巡でもう少し、マッチングしてほしい。 各自治体様の保有設備情報（延長、口径、管種、更新率 等）があるとより具体的な提案がしやすい。 限られた時間であるので、参加水道事業者様の皆様に対して面談ができない先もあった。もう少し時間があるとよい。（5分サイクルで回転率をあげる等） 	民間事業者

図表 17 資料「水道事業者の課題一覧」の改善した方がよいと思う点について（第3回茨城県）

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような内容で官民連携に興味・関心があるか、項目にチェックを入れるような書式を追加してはどうか。 ・ フリーコメント記述に差があるため、施設老朽化、人口減少の料金収入減少、等大項目を選択制で○をうって、それを補足するコメントを記載すれば目ざろいできてよいかと思った。 	民間事業者

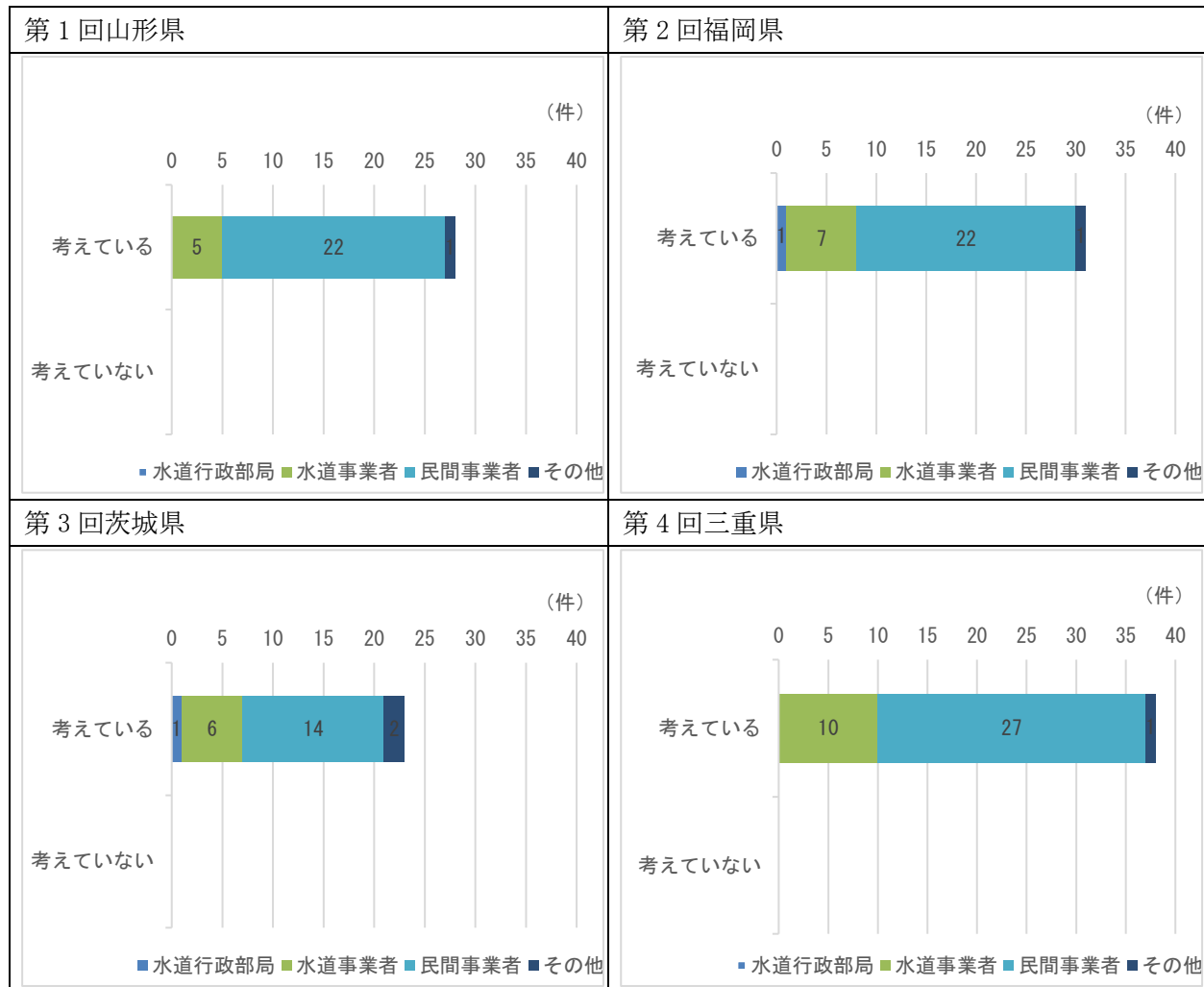
図表 18 資料「水道事業者の課題一覧」の改善した方がよいと思う点について（第4回三重県）

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載粒度に幅があるため、管路更新、施設改修等大まかでもよいので項目明示して、そこに追加情報を記載する方式にすれば、目ざろいできてよいと感じました。 ・ 施設関連のモノの課題に偏っているので、料金改定、技術継承等カネ、ヒトの課題抽出を促していただけると幅広い課題が出てきてよいかと思う。 ・ 現状の委託の実態をヒアリングするだけで10分を使い切ってしまうことがあるので、マッチングが決定された後に、もう少し詳しい現状の情報提供があるとよい。また逆もしかり。 ・ 水道事業者ごとに記入の情報量が異なるため、現在の記述欄に加えて「検討中の事業 管路/浄水場/配水池/・・・」のように、回答項目を選択式で記載いただくことで、水道事業者側も記入しやすく、事業者側も提供する情報がクリアになるのではないかと考える。また、「民間事業者に求めること」等の項目を設けていただくことで、民間事業者のプレゼンテーションに活かすことができるのではないかと考える。 ・ 担当者が複数名参加される事業体や、県企業局と県庁が同時に参加されるケースでは、どの部署、どちらの組織の意見なのかを正確に把握したいので、課題調査票のコメントを記入された部署名を記載してもらいたい。 ・ 官民連携について具体的な構想をもっと引き出せばよりマッチングが進むと考える。 	民間事業者

6) 今後の情報交換の継続に対する意思

情報交換等の継続に対する意思は図表 19 に示すとおりであり、官民ともに、継続を考えているという回答が 100%であった。

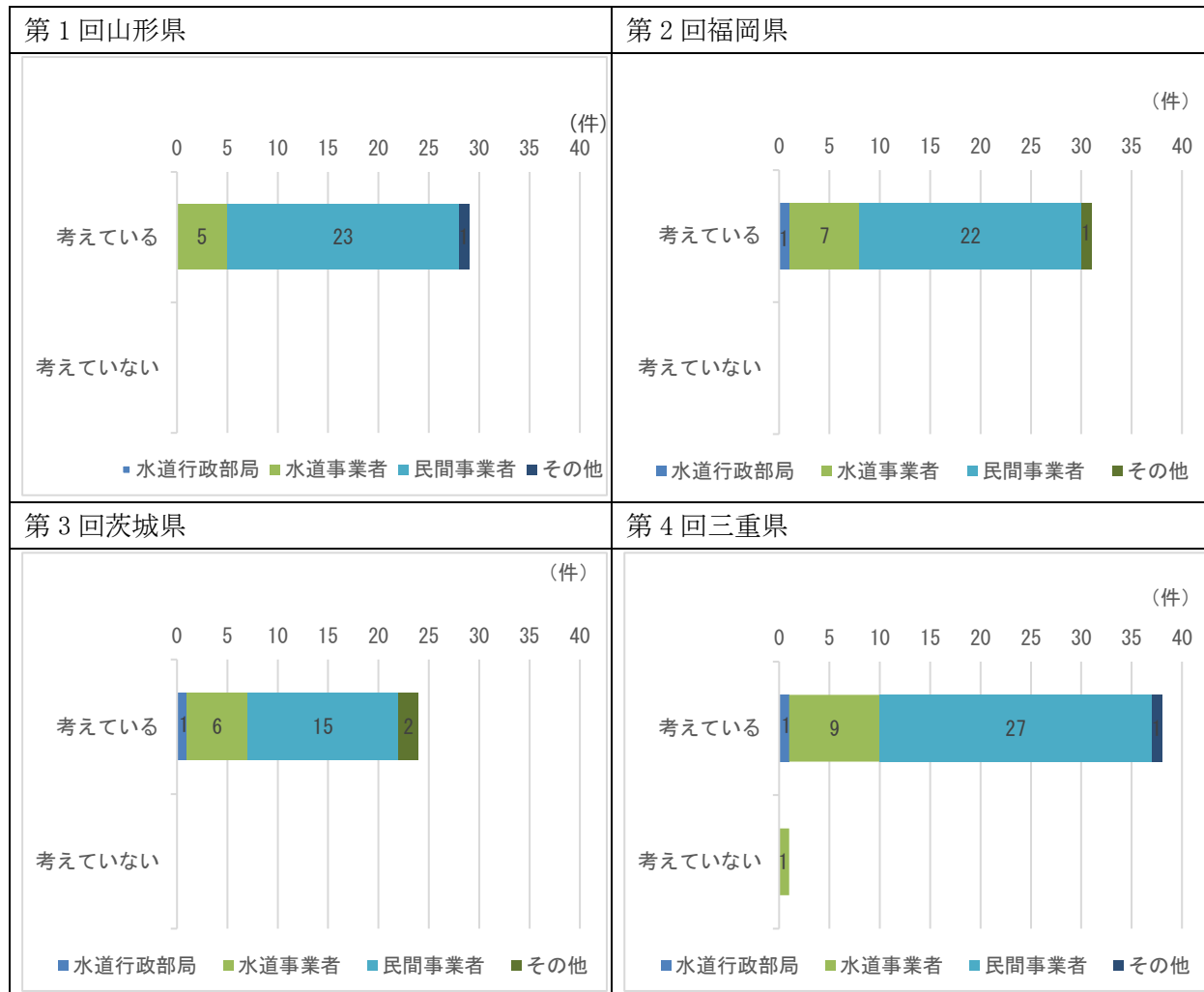
図表 19 今後の情報交換の継続に対する意思



7) 今後の協議会への参加に対する意思

情報交換等の継続に対する意思は図表 20 に示すとおりであり、今後の参加を考えている団体が大多数を占めている。

図表 20 今後の協議会への参加に対する意思



8) 協議会に対する提案・要望・意見等

協議会に対する提案・要望・意見等は図表 21～24 に示すとおりである。第 1 回から第 4 回にかけて、フリーマッチングに関する要望が多く見られ、今後改善の余地があると思われる。

図表 21 協議会に対する提案・要望・意見等（第 1 回山形県）

自由回答	分類
民間事業者によるプレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> 各自自治体が抱えている問題について、事前に資料配付頂きましたが各自自治体からも簡単に課題発表があれば良いかと思う。 	民間事業者
フリーマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> 官民連携の導入した事業者の事例発表とともに、その事業者との個別の情報交換の場（官官情報交換）を設けていただきたい。先進都市視察の代替として活用。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業体と民間業者の両方の実務者レベルによるフリーマッチングで具体事案の意見交換が可能な場を設けることも必要かと思われる。 マッチングにおいて、時間を区切って面会相手を変えるのは非常に良かったと感じる。 フリーマッチングの時間配分を再検討いただきたい。 官民連携の取り組みは民間事業者にとっても、有効な事業者様とのコンタクトの機会となる。 少ない時間でもよいので、より多くの事業者様との接点を設けられればなお良いと考える。 水道業界を取り巻く環境は今後益々厳しい状況になっていくものと思われる。事業体様の事前課題調査票は大変参考になったが、事業体様が民間事業者に期待する事（こんな製品、サービス、システムが欲しいや、こんな方式を検討して欲しい）というような具体的な声を聞かせていただければ、フリーマッチングの場も更に有効な場になるかと思う。 最後にフリーマッチングの時間が足りなかったと思った。 	民間事業者
全般	
<ul style="list-style-type: none"> 国の推進する広域化に慎重または消極的な水道事業体には積極的な関与や指導をお願いしたい（本県の庄内圏域の場合は市町の方が広域化に対し前向きである）。 将来水道行政が国土交通省に移管した後も、広域化に必要な財源の確保と弾力的運用をお願いしたい。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> 協議会への当日参加、不参加に関係なく会場となる都道府県下の各水道事業体に課題調査の簡易なアンケートを実施していただき民間事業者に情報提供いただきたい。 会食を含めた意見交換会の席も検討をお願いしたい。 水道事業の民間委託へ切り替わった自治体のトラブル事例等知りたい。事前に把握しておくことにより今後移行時のトラブル等軽減できると考える。 水道事業運営により多くの課題を抱えているだろうと思われる小規模事業体の参加者が少ないように思われる。小規模事業体で官民連携を活用して効率的な事業運営をされている事例等を紹介されたら良いのではと感じている。また、小規模事業体は職員数が少ないと 	民間事業者

<p>ころが多く、出張して参加されるのが難しいと思うので、オンラインでも参加できるようにしたら参加する事業体数が増える可能性があると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者募集の公示から申し込みまでの時間を、もう少し長くって頂けるとありがたい。 	
---	--

図表 22 協議会に対する提案・要望・意見等（第2回福岡県）

自由回答	分類
フリーマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> 会については内容が非常に濃く、充実したもので時間が足りないと感じた。できれば、フリーマッチングの時間をもう少しとっていただきたいかった。 同じ水道事業者同士の交流（フリーマッチング）があっても良かったと感じた。各水道事業者が抱えている問題について議論する場があっても良いと感じた。 業界の最新情報を得ることができ、さらに新たな視点を持つことができ、非常に勉強になった。今後の業務に積極的に生かしていきたいと感じた。 フリーマッチング用に会場レイアウトを休憩時間に変更されていたが、その間、会議室外の非常に狭いスペースに多人数での待機を余儀なくされた。最後の講演はそのままのレイアウトで行われて支障がなかったことから、最初からそのレイアウトで、途中変更の必要はなかったのではないか。このご時世でもあり、室外での待機については何らかの工夫があってもよいように感じた。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業者様の課題を細分化し、問題点をもっと明確にしてグループごとに民間企業との最適なビジネスマッチングをお願いしたい。例えば「小規模水道規模」「1000m³/日以下の簡易水道」「10,000m³/日以上の上水浄水場更新」等。規模と課題種別に強みを持つ民間企業群を絞り込みしたグループにおけるマッチングを希望する。 フリーマッチングの10分間はあっという間であるため、「基本10分。最長15分」としていただければ相互理解度も高まるのではないか。 九州圏内では、政令指定都市が北九州市のみであったので、次回福岡市、熊本市にもご参加いただきたいと感じた。 「資料-9 水道事業者の課題一覧」について、事前に確認を行うことでフリーマッチングで有効なため、今後の情報交換の場でも継続をお願いできればありがたい。 フリーマッチングでの面談先数の向上がはかれるとよいと考える。 	民間事業者
全般	
<ul style="list-style-type: none"> 他水道事業者との情報交換できる時間を設けて頂きたい。（例：午前中は水道事業者のみ参加、午後から民間業者参加等） 自由参加型で良いので、「公民連携推進のための手順書」の説明等、初めて検討する事業者向けに講習会を開催して頂きたい。（例：午前中に開催、午後から通常の協議会等） 水道事業者からの情報提供については慎重に行わなければならないため、できるだけ民間の情報や水道事業者事例を参考にさせていただきたい 	水道事業者等

<ul style="list-style-type: none"> 既に、DBOにより浄水場等整備し、運営を包括委託・第三者委託により行っている事業の次期事業について先行事例がないため、官民連携手法等が手探り状態である。ガイドラインや考え方が示されれば参考にさせていただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 今後、水道事業の所掌が国交省（・環境省）に移管されることもあり、本協議会を水道事業分野に特化しつつも上下水道事業の連携を促進するような事例紹介や発信をされてはいいかがか（主な目的として、上下水道一括発注等に関する事業者様の意識付け）。 水道事業者の皆様においては日々の多忙な業務の中、民間事業者のプレゼン概要やプレゼン資料を読み込んでの参加は困難ではないか。例えば本協議会開催後一定の期間は、参加者相互に連絡を取り合う事を推奨するコメントを事務局から発信いただくのは一考かと思う。 対象の地域の広域連携の説明と、それに伴う官民連携の説明を頂けると良い。 今回参加していた水道事業者はある程度規模の大きな事業者だったと思われる。規模の小さな町村の水道事業者ではどのような問題を抱えているのか情報交換できればと考える。 水道事業者のご参加メンバーが、水道施設課や浄水課等工務関係の部署が多い。ハード面だけではなく、ソフト面に関する水道事業者による先進事例紹介等、テーマ内容について工夫いただければと思う。 実施の時期が年度の後半以降に集中しているので、出来ればもう少し平準化して頂けるとありがたい。（開催間隔を2か月程度空ける等） 限られた時間の中でより効果的なフリーマッチングを実施するために、水道事業者の課題一覧（確定版）ご提示から、フリーマッチング希望調査票の提出までの期間を、1週間程度頂けるとありがたい。 	民間事業者

図表 23 協議会に対する提案・要望・意見等（第3回茨城県）

自由回答	分類
民間事業者によるプレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> 発表企業がどのような分野に長けており、何がアピールポイントなのかを発表を通じて知り得る可能性が大きいため有効であると感じている。 官側が各々の課題をプレゼンしていただければ、民側が協力できる事を考える機会になると思う。 	民間事業者
フリーマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> 民間のプレゼンテーションは行わず、その分フリーマッチングに時間を設けていただきたい。 民間事業者によるプレゼンテーションの廃止の声もあったと聞いたが、今回導入された、水道事業者に対する当日のフリーマッチング追加希望調査のためには、たとえ1分であったとしても、プレゼンテーションの実施は有効だと思う。 水道事業者様がどの分野の民間企業とマッチングを希望しているか優先順位をつけて記載していただくと、民間側も希望を出しやすいのではないか。 	民間事業者

全般	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の会場は関東地区かと思うが、水戸は遠いと感じた。水戸で行うのであれば、せめて水戸駅周辺で開催すべきかと思う。幸い柏市はまだ交通アクセスが悪くはないが、今後関東地区でも群馬県・栃木県での開催となった場合は参加が厳しい状況である。可能であれば、以前同様に霞ヶ関での開催をする等、アクセスを考慮していただくと他の事業体も参加しやすいと思う。 ・ 実際に会って話をできたのは良かった。確認したいテーマも広域に係るものだったので、可能な限り多くの民間事業者と話をしたかった。 ・ 管路の更新工事はこれまで積極的にこなってきた拡張工事と異なり、個々の担当職員が1現場に関わらなければならない時間が多く、職員の監督業務に係る負担が大きい。協議会でも質問させていただいたが、小規模管路DBのような手法が国庫補助事業においても利用できると、活用の幅が広がるのではないかと。 ・ 講演が駆け足になってしまった点もあったように感じたので、講演とフリーマッチングの場を分けて開催することもありかと思う。 ・ 参加した水道事業者同士で情報交換する場面があっても良かったように感じた。水道事業者のみが出席し、官民連携の手法を学ぶ研修会のようなメニューがあっても良いかもしれない。 ・ 普段接することのないような民間事業者の方々と話すことができ、勉強になった。様々な分野の民間事業者と課題について話す場は有意義だと感じた。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能であれば施設別（管路、浄水施設）の開催とし、官民ともに共通の問題意識をもってマッチングができればより効果的なように思う。 ・ 官民連携や広域化管理等共通の課題がある事業者様や複数の事業者様と民間企業が提案や連携できるメニューがあると良いと考える。また、官民連携に取り組めていない事業者の実情を共有できるメニューがあると良いと考える。 ・ 開催都道府県からプレゼンを行っていただくのはいかがか。（特に広域化の取組み等について） ・ 2部制にして、前半は事業者向けのプレゼンテーション、情報提供。後半に民間とのフリーマッチングという形にしてはいかがか。 ・ オンライン参加等活用により、水道事業者の参加団体数がさらに増えれば、より活発な情報交流の場として有効に活用できるのではと考える。 ・ 当社は計測機器メーカーであるため、PFI等直接運営に入る事はないが、運営においての機器としてより安全、安定した機器で有り安価で保守性の高い機器をご提供出来る様にご紹介が出来ればと思う。 	民間事業者

図表 24 協議会に対する提案・要望・意見等（第4回三重県）

自由回答	分類
民間事業者によるプレゼンテーション	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間企業の1分間のプレゼンテーションが不要ではないか？との意見もあったようだが、個人的には非常に有効だと思う。社名だけではどのような商材・特徴・実績があるのか分 	民間事業者

<p>かりづらいが、わずか1分でもポイントや強みを知ることが可能なため有意義であったと思う。</p>	
<p>フリーマッチング</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業者様の課題について、できるだけ詳しく開示してほしい。フリーマッチング提出までもう少し時間をいただきたい。 ・ 水道事業者の参加数に比べて民間事業者の参加数が多く、民間事業者のフリーマッチングの機会が少ないと考えている。主催者側の働きかけによって、水道事業者の参加数が増えることを希望する。 	<p>民間事業者</p>
<p>全般</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本協議会は回を重ねるごとに改善されて良い場にしていただいていますので、特に改善事項はない。 ・ 民間事業者側のネットワーキングにも有効な場であると考えますが、お名前を確認する名札が見えにくいフォルダーなので、現状は始まる前に挨拶できないとどなたかわかりづらい状況にある。 ・ 胸に固定する名札に変えていただだけで、ご挨拶等する社名が見えやすくなり、民間事業者の参加インセンティブが増加する。（フリーマッチングで運営者側が時間をかけて民間事業者を探しているお姿も段取りが悪くようにみえるので、その点もスマートになるかもしれない） ・ 事業者全体で議論できるような場を設けてほしい。 ・ 水道事業者の参加が少ない場合は、官民連携に資するテーマで学識者を交えたパネルディスカッション等も検討してはどうか。 ・ 広域連携に関して必要と感じているか否かのアンケートを取って頂きたいと思います。 ・ また広域連携実現に対して障害になっている原因を、各事業体様がどのように感じているのかが知りたいと考える。 ・ 上下水一括発注に関して各事業体様のご意見を聞きたいと考える。 ・ 来年度も引き続き、協議会に参加させていただきたいと思うので、アンケート記載内容の採用を検討いただきたい。 ・ 水道事業者様がどの分野の民間企業とマッチングを希望しているか優先順位をつけて記載していただくと、民間側も希望を出しやすいのではないかと。 ・ 前回までに提出した提案や要望に対するご検討状況のご提示（フォロー）をお願いしたい。 ・ 開催時期は、もう少し早めを希望する（第4回の2月開催は遅いので、全体的に前へ）。 ・ 民間企業の取り組みは、プレゼン資料等で十分わかるが、水道事業者の現状・課題等が今一つわかりづらい。（具体的な記述が少ないので） ・ 事前に、各水道事業者の水道ビジョン、水道施設の整備計画等を提示していただくとともに交流が深まるかと考える。また、開催時間を午前10時からとし、午前中に、毎回定番の情報提供を実施し、午後からは民間企業によるプレゼン（時間を増やす）及びマッチングに充ててもらいたい。毎回出席しているが、途中で終わっている感が強く、非常に残念である。再考をお願いしたい。 	<p>民間事業者</p>

<ul style="list-style-type: none">・ 今回、協議会および、協議会の翌日に水道事業者等と官民連携に関する意見交換をしている中で、官民連携手法に対して導入検討の必要性を感じ、これから勉強を始めるないし、始めたところというような話しを複数得た。そのため、協議会の講演の中では、宮城のコンセッションのような事例のほかに、導入検討水道事業者の参考となるような官民連携手法について、もっと基礎的な内容について説明を行うような講演もあった方が良いと感じた。・ 官民連携を検討している事業毎（例：管路更新、工業用水、下水道、浄水場建設）に水道事業体を絞って開催することはできないか。また、国には官民連携を促進する施策（例：補助金交付）のご検討をお願いしたい。	
---	--

2.2. 総括アンケートについて

2.2.1. 総括アンケートの内容

総括アンケート調査票を以下に示す。

令和4年度 水道分野における官民連携推進協議会 総括アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

このアンケートは、今年度実施した官民連携推進協議会に参加した水道事業者・民間事業者・団体等を対象として、協議会や官民連携全般について調査をさせていただくものです。
団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

■ 基本情報

水道行政担当部局		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

① 協議会後に、水道事業者等又は民間事業者の方と連絡をとられましたか。

a) 連絡をとった。		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい
b) 今後、連絡をとる予定がある。		
c) 連絡をとる予定はない。		

①のa)またはb)に「○」をつけられた方はどのような内容について連絡されましたか(する予定ですか)

①で「a)連絡をとった」と回答された方に伺います。何事業者と連絡をとられましたか(大体の数で結構です)。

水道事業者等		事業者
民間事業者		事業者

①で「b)今後、連絡をとる予定がある」と回答された方に伺います。何事業者と連絡をとる予定ですか(大体の数で結構です)。

水道事業者等		事業者
民間事業者		事業者

①のc)に「○」をつけられた方は、理由をお聞かせ下さい。

② 貴事業者が抱える課題解決のために、本協議会で知り合った水道事業者等又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) 考えていない。		

③ 本協議会を契機として、官民連携の具体的な取組につながったケース(検討段階も含みます)はありますか。

a) ある。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) ない。		

③で「a)ある」と回答された方に伺います(④～⑥)。

④ 何件ありますか。 件

⑤ どのような官民連携手法ですか。当てはまるものに○をつけて下さい。

a) 包括委託	
b) 第三者委託	
c) 指定管理者制度	
d) DB	
e) DBM	
f) DBO	
g) PFI	
h) コンセッション	
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。	

⑥ 本協議会を契機として官民連携の動きにつながったケースについて、具体的な事業名及び内容を差し支えない範囲でご記入下さい。

⑦ 取組を進めようとしたが、残念ながら官民連携につながらなかったケースはありますか。

a) ある。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) ない。		

⑦で「a)ある」と回答された方に伺います。

⑧ 進まなかった理由について差し支えない範囲でご記入下さい。

⑨ 官民連携ではありませんが、水道事業者同士あるいは民間事業者同士での連携の動きが本協議会を契機に進んだケースがあればご記入下さい。

⑩ 本協議会に限らず、官民連携事業に取り組む水道事業者や民間事業者、又は国より、取組紹介や施策の解説を受けられる機会がある場合に、聞いてみたい取組(具体的な事業体名、事業名等)や施策があれば、ご記入ください。

⑪ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他園に対するご意見でも何でも結構ですので、自由にご記入下さい。

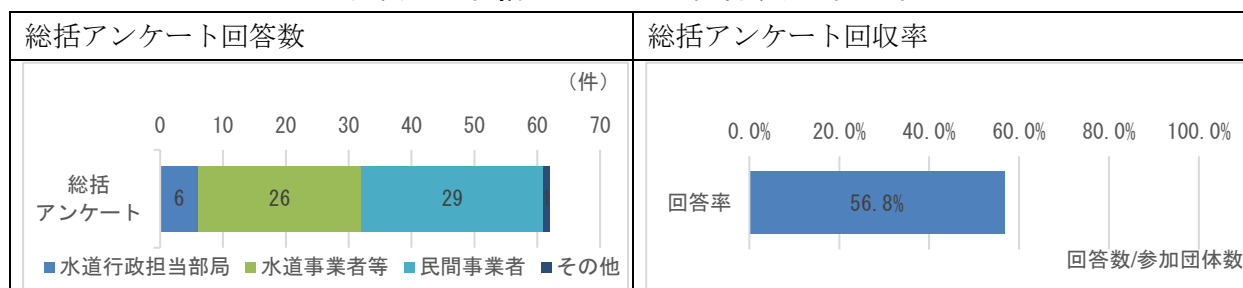
2.2.2. 総括アンケートの集計結果

1) 回答率および回収率

総括アンケートの回答数と回収率を図表 25 に示す。

全 4 回の協議会の参加団体数は 111 団体（複数回参加した団体は 1 団体とする。）であった。これに対して回答のあった団体数は 63 団体であり、回収率は 56.8%であった。図表 7 に示した事後アンケートの回収率（52.3～60.3%）に対して総括アンケートの回収率が最大で 3.5 ポイント低くなっており、総括アンケートの回収率向上は今後の課題と考えられる。

図表 25 総括アンケートの回答数及び回収率



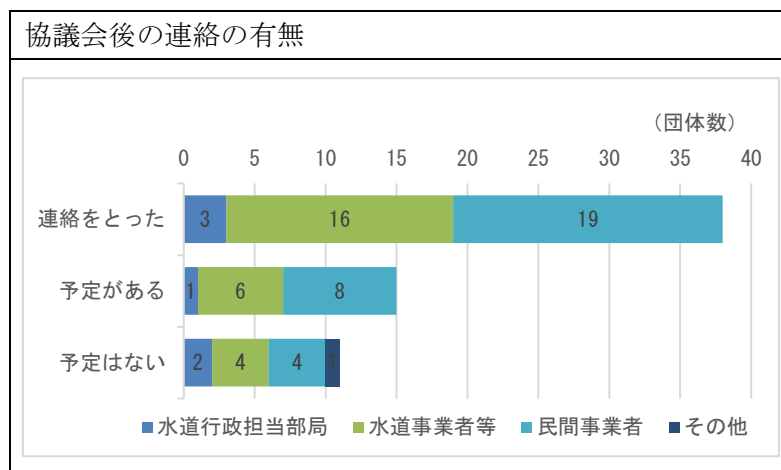
2) 協議会開催以降の状況について

(1) 協議会後の連絡の有無及び連絡件数

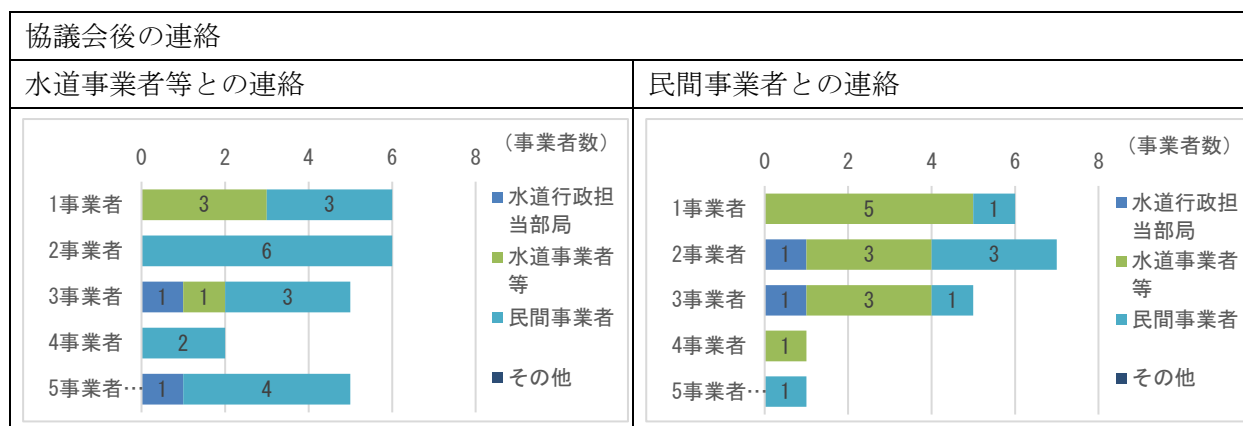
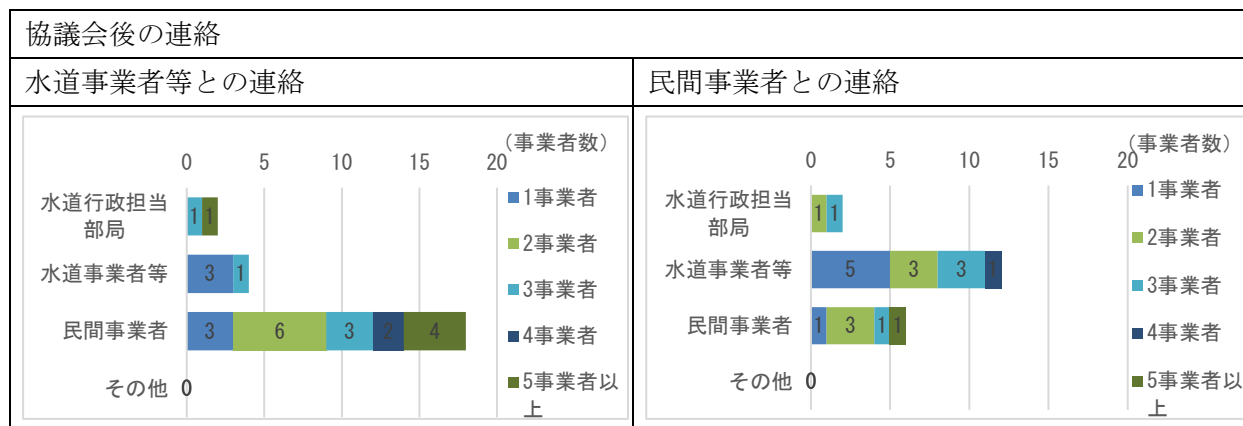
協議会後の連絡の有無を図表 26、連絡の程度を図表 27、具体的な連絡の内容及び連絡をとる予定はないとした理由（自由記述）を図表 28 に示す。

「連絡をとった」が 38 件、「今後とる予定がある」が 15 件、「今後とる予定はない」が 11 件であり、回答者の約 83%が「連絡をとった」または「今後とる予定がある」としており、協議会への参加が次の展開へのきっかけとなっている様子が伺える。

図表 26 協議会後の連絡の有無



図表 27 協議会後の連絡件数



図表 28 協議会後の連絡内容及び連絡をとる予定はないとした理由

自由回答	分類
<p>具体的な連絡内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 官民連携の事例についての聞き取り。 ・ 人工衛星を使った管路診断業務について。 ・ マッチングが終了し、その後の余剰時間に名刺交換や製品のPRができなかったことで後日訪問を受けた。 ・ マッチングで時間内に製品のPRが終わらず、補足説明のための訪問を受け、あるいはWeb上でPRを受けた。 ・ 全般（民間事業者から連絡があった。） ・ 包括委託関係及び管路DBについての説明を受けた。民間事業者から営業があり、企業からの説明を受けた。該当する可能性のある簡易水道施設において、現地調査を案内・実施し、提案システムが示される予定。 ・ 水道施設の運転管理における官民連携の導入にむけて、導入検討の方法について提案をお願いする予定である。 ・ 今後予定している事業の内容説明や意見交換。 ・ 直接連絡はしていないが、導入可能性調査業務において市場調査の調査協力を依頼した。 	<p>水道事業者等</p>

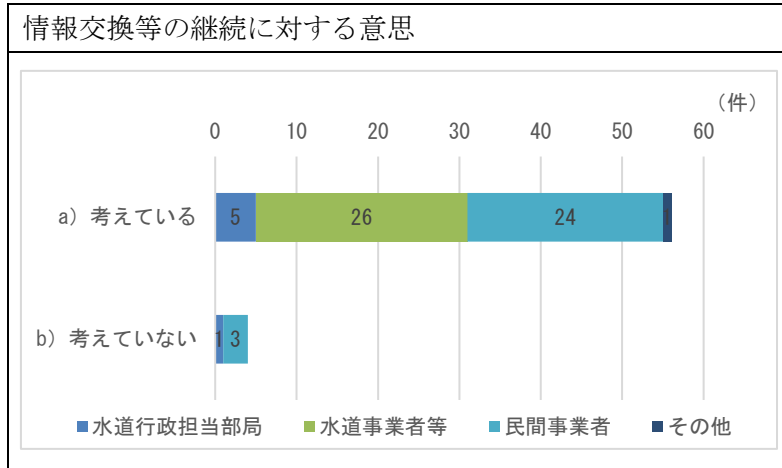
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市浄水場運営事業の次期事業についての意見交換（現受託者）。 ・ 管路 DB の実施内容と実施結果についての意見交換を行った。 ・ 管路の耐震化について。 ・ 浄水場等の運転業務について。 ・ 民間事業者側からアプローチがあり、浄水場再構築の発注方式等について参考となる情報を提供していただいた。 ・ 水道資材の質問等について。 ・ 当日、時間切れにより詳しく聞けなかったことを聞いた。 ・ 見積等の提供依頼。 ・ 本市が計画している浄水場の更新工事に参画する意思があるかどうか確認をするため。 ・ 民間事業者から連絡があったため、個別で詳細内容を聞き取りする予定。 ・ フリーマッチングで意見交換を行った民間事業者様が、挨拶と説明に来ていただいた。 ・ マッチングでのお礼。 ・ 今後引き続き情報交換させていただきたい旨。 ・ DB について、フリーマッチングでは聞けなかったことをより詳しく聞くため。 ・ 水道標準プラットフォームについて。 ・ 管路更新（DB）及び管路更新や管路維持管理（DBM）について、取組内容や取組事例等具体的な内容を聞きたいと思っておりますので、改めて連絡を取りたいと考えている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングで上位に希望していたが、当日十分に話すことが出来なかった事業者様に対して、明記されていた課題をブックにご連絡させて頂いた。 ・ 協議会時に情報照会を受けた件に関する資料回答等。 ・ 水道事業者へ訪問し、管路 DB 導入に向けての勉強会開催予定。 ・ 情報交換。 ・ ご面談お礼のメール。 ・ 協議会当日は時間が限られていたので、訪問により詳細のご説明をさせていただくため。 ・ 県主催の広域化の検討会への参加水道事業者への訪問。 ・ 民間事業者と官民連携や広域連携に関する意見交換や DB 方式の案件等で連絡を行った。 ・ 官民連携手法を含む、情報交換及び課題についてのヒアリング。 ・ 当社の水道事業 PR 実施依頼。 ・ フリーマッチングの際に、ご提示いただきました課題解決のための提案について、ご連絡差し上げ（またはさせていただく予定）。 ・ 弊社が取扱う製品のひとつである弁類について、効率的な点検手法について、提案を求められた。 ・ マッチングでの課題対応について。 ・ 官民連携にてご案内した水道情報活用システムについて、詳細説明の機会と今後の検討に向けた意見交換を個別に実施させて頂いた。 ・ 営業訪問の実施の連絡を取り、実際に訪問した。 ・ フリーマッチング時に時間が無く、製品・工法の PR を改めて実施したいと申し入れ予定。 	民間事業者

<ul style="list-style-type: none"> ・ DBの履行中の会社としての、DB実施検討にあたっての留意事項等について意見を求められたことに対する回答。 ・ 当日だけでは説明に時間が足りなかった際に、後日お時間を頂いた。 ・ 当日持参してなかった資料を持参して説明した。 ・ 当日参加した担当者の担当エリア以外の事業体様に対してエリア担当者からご挨拶に伺った。 ・ 実績書類提出等。 ・ 興味を持っていただいたDXツールの情報を提供した。 ・ 管路更新や維持管理に課題を持たれている事業体に連絡をとった。 ・ 管路DBについて。 ・ マッチング先の事業体との時間をとった意見交換、提案等。 ・ 民間事業者の発表に対する問合せ、説明会。 ・ マッチングの時間に弊社サービスの概要を説明させて頂いたが、時間も限られていたため、改めて詳細説明の時間を取って頂いた。 ・ 今後の事業計画の詳細について。 ・ 昨年度と今年度のフリーマッチングで広域化連携における調査について連絡をしている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業広域化の進め方について。 	その他
<p>「連絡をとる予定はない」とする理由</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の施策としての具体的な内容を絞り込めていないため、現段階では連絡を取れない。 ・ 当面活用を想定できる事業がないため。 ・ 具体的な方向性等について検討段階であり、現時点で局内の意思決定を受けていないため。 ・ 官民連携の導入について、現時点では具体的な検討段階にはないため。 ・ 現段階では、三重県内の水道事業者同士の連携を重点的に推進していきたいと思っているが、民間事業者の情報も把握し、当町が抱えている課題を解決する案があれば、連携を検討していきたいと考えている。 ・ 特に早急に必要と感ずるものがなかった。長期的な視点では有効と思われる。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回が初参加であるため。 ・ 検討段階であり具体的な事業体が決まっていないため、連絡をとる予定はない。 	民間事業者

(2) 情報交換等の継続に対する意思

情報交換等の継続に対する意思を図表 29 に示す。回答者の約 93%が「考えている」と回答しており、官民相互の情報交換に対するニーズは大きいことが分かる。

図表 29 情報交換等の継続に対する意思

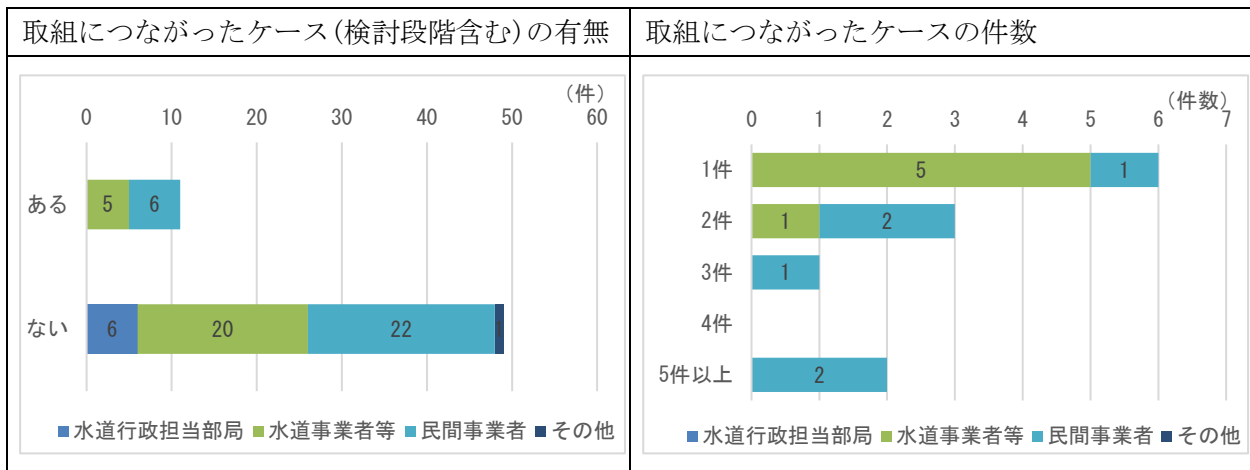


3) 本協議会を契機とする官民連携の具体的な取組

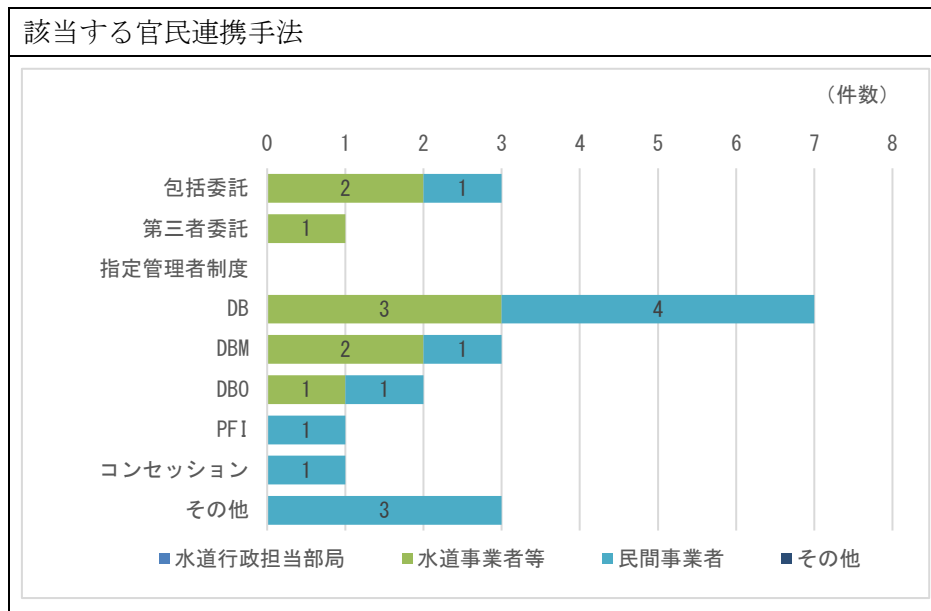
(1) 取組の有無及び具体的内容

本協議会を契機とする官民連携の具体的な取り組みの有無と件数を図表 30、該当する官民連携手法を図表 31、具体的内容（自由記述）を図表 32 に示す。具体的な取組につながったという回答数は 11 件である。

図表 30 本協議会を契機とする官民連携の具体的な取組の有無と件数



図表 31 取組につながった際の官民連携手法



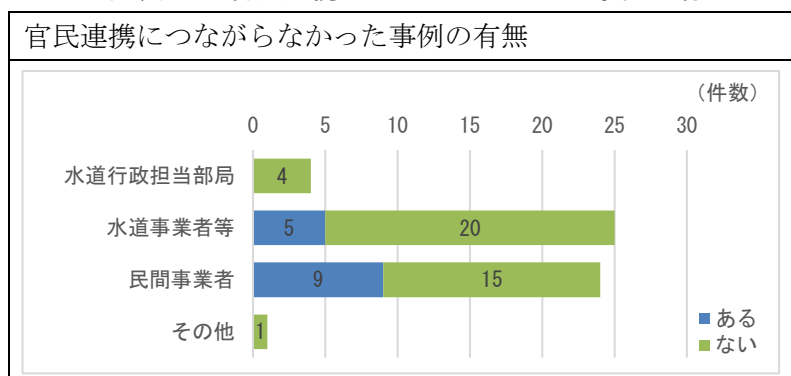
図表 32 本協議会を契機とする官民連携の具体的な取組内容

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者からの問い合わせが多くなり、有益な情報交換ができるようになった。 更新を迎える簡易水道施設の更新に向け、提案して頂いた「水源調査・井戸掘削・浄水設備一貫システム」を含め、今後の方針を検討していきたい。 「久里浄水場再構築事業（仮称）」（浄水場の再構築）。 ありあけ浄水場運営事業（H24 から R8）の次期事業に向けた検討。 新規事業における DB の活用について、実施内容等については検討中である。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> 宮城県。 大阪市水道 PFI 管路更新事業、全国 10 事業以上の DB 方式の案件（管路・浄水場関連）他。 検討段階であり、具体的な事業者の記載は控えるが、今後の水道システム更新のタイミングにて水道情報活用システムの導入検討を頂くよう複数の水道事業者以案内をした。官民連携の場でのマッチングの機会は、その後の個別の意見交換に繋がるとも良い機会であった。 水道事業体で検討を始めたため、ヒアリングの声がかかった。 	民間事業者

(2) 官民連携につながらなかった事例の有無

官民連携につながらなかった事例の有無を図表 33、その理由（自由記述）を図表 34 に示す。

図表 33 官民連携につながらなかった事例の有無



図表 34 官民連携につながらなかった理由

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者に対して官民連携事例の聞き取りおよび水道事業者側の事業説明等の情報交換をしていたが、民間事業者のニーズに合わず早々に断られた。（規模が小さい、浄水場内の設備更新が少ない等） 民間業者から連絡があったものの、タイミングが合わず流れた。 現在進行中のため未定である。 官民連携による VFM が見込めなかったため。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> 当社の提案範囲が「浄水装置の更新」のみと限定的なため、参加した水道事業者の課題やニーズに対応できなかったため。 事業体の計画や予算に見合わなかったため。 参加されていた水道事業者の中には、重要な位置づけである管路更新を課題としているところが多く、当社から提供可能な情報／技術内容が少なかったため、具体的な検討まで進められないケースがあった。 現時点で、具体的なスケジュールに則り、案件形成を進めている状況にはないが、引き続き勉強会等を通じて事業化の機会を醸成していく方向で合意形成されている。 水道情報活用システムの導入検討時期がまだ先であった。 契約に繋がる事例がなかった。 事業者様のニーズと当社の製品、サービスが合致しなかった。 当社の提供する技術が自治体の課題に対して、全てを解決に繋がらない。 官民連携の課題に対して、有償での実証等を計画して頂きたい。 フリーマッチングにて情報交換をする旨を共有することを確認し、連絡をとったが返信がなかった。 	民間事業者

(3) 水道事業者間や民間事業者間での連携の動き

本協議会への参加を契機として、水道事業者同士あるいは民間事業者同士での連携の動きにつながった事例（自由記述）を図表 35 に示す。

図表 35 官民連携の動きにつながった事例

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> 現在進んではいないが、同様の事業を予定している水道事業者と名刺交換は行ったため、今後情報交換等を行う可能性はある。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> 参加されていた民間企業の方と後日情報交換目的でお会いした。 情報交換等。 参加された民間事業者 1 社と、協議会後に情報交換を実施。相互補完的なビジネスチャンスのきっかけとなった。 本協議会を契機に、PPP に取り組んでいる各社と交流を持つ事が出来て仕事に繋がったケースがある。 民間事業者同士の名刺交換により人脈形成の足掛かりとなった。 特にありませんが、水道情報活用システムが普及していることは案内できたと思う。 民間事業者の発表に対する問合せをし、社内向けの説明会の開催、意見交換等を行った。 	民間事業者

(4) 官民連携事業に取り組む水道事業者や民間事業者が聞いてみたい取組

本協議会に限らず、官民連携事業に取り組む水道事業者や民間事業者、又は国より、取組紹介や施策の解説を受けられる機会がある場合に、聞いてみたい取組（具体的な事業体名、事業名等）や施策があるかを聞き、得られた回答（自由記述）を図表 36 に示す。

図表 36 聞いてみたい取組

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業者内における官民連携導入までの手順や手続き（導入可能性調査、アドバイザー一業務等）、民間事業者の選定方法等の取り組みを聞いてみたい。 料金徴収業務等を含む包括業務委託について。 動力費（電気代等）や燃料費の高騰に対する取組紹介をお願いしたい。 DB 等の実績がある水道事業者に事前検討から募集選定までの人員配置や各種部会の設置時期等の詳細なプロセスと作業項目、注意点等をご教示頂きたい。 新規の官民連携事業ではなく、現在行っている官民連携事業の第二期についての進め方メーカーの独自色が強い浄水場であるため、他民間事業者参入の余地が少なく競争性が働きにくい。 水道事業体の職員が減少する中で、基本的に官側で負うべき天災や水源の突発的汚染事故等のリスク管理についての官民連携の手法について。 北九州都市圏域における給水装置工事申込の「電子化」・「一元化」・「共同委託」について検討する場合、水道事業体毎で異なる申請様式やその他要領をある程度統一していくことが重要である。こうした統一化については以前からアイデアとしてはあるものの、具 	水道事業者等

<p>体化に向けた協議が進んでいないのが実情である。他の事業者等で実施された事例があれば、お話を聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金を活用した PPP 事業への取組事例について。 ・ PFI 導入による VFM 試算結果例について。 ・ DX 推進による実際の効果（コスト削減等）について。 ・ 小規模管路 DB について。 ・ 将来的な浄水場運転管理業務、料金徴収等の営業業務及び漏水等の修繕業務に係る包括的民間委託や浄水場の更新における DB 方式について検討しているため、それらに関する具体的な取組状況等について聴講できる機会があれば参加したい。 ・ スマートメーターによる自動検針や実証実験について。 ・ 東京都水道局や堺市上下水道局等で導入している「水道アプリ」について。 ・ 今後、官民連携を具体的に検討する際には、官民連携事業に要した予算の実績、官民連携による成果等について、詳細な情報があると検討を進めやすいと考えている。 ・ 比較的大規模（口径、業務範囲）な管路 DB の先行事例について。 ・ 宮城県の上工下水一体官民連携運営事業について、より詳細な内容について。 ・ 広島県と水 ing による「水みらい広島」設立に至った背景と、今後の展望（他県への横展開等）について。 ・ 新たな官民連携手法で今後活用できる事例や研究結果の紹介。 ・ 職員数や施工業者等人材の不足が大きな課題であり、管路更新需要の増加に対応するための手法を検討している。そのことから、管路更新における官民連携手法や取組事例等あれば是非内容を聞きたいと思っている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンセッションによる「みやぎ型運営管理方式」や、最大級の包括委託事例「あらおウォーターサービス」の関係者から、事例紹介的な講演をお聞かせいただきたいと思う。 ・ 補助金活用の全国的な事例を示していただけると非常に参考になると思う。 ・ 具体的にはないが、その様な機会があれば是非参加したい。 ・ 上下水道に限らず、他領域での官民連携事業について。 ・ 実際に官民連携で事業を実施した自治体の体験談（想定と現実、経験をふまえて民間事業者に求める事項等）について。 ・ 上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について、民間事業者（株式会社みずむすびサービスみやぎ、株式会社みずむすびマネジメントみやぎ）からの講演を希望する。 ・ 中小事業者の事例について、苦労した点等聞いてみたい。 ・ 広域化、共同化の実現に向けた検討、議論等の過程や進捗状況等紹介があると、官、民ともに有意義な情報提供になると思う。 ・ 水道事業者の広域連携にかかるシステム連携等の統合手法等について。 ・ 以下の条件を満たす取り組みであれば、聞いてみたい。（成功と評価できる部分と課題と評価できる部分等）中小規模（5万人未満）事業者・事例導入後一定年（＝5年：一般的な包括委託の事業期間）を超える。 ・ 日立製作所様と水みらい広島様の広域的なシステム連携について。 	<p>民間事業者</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の補助金活用による自治体の成果報告（特定の自治体はない）について。 ・ 各種広域化に対する施策、事例紹介が有れば聞いてみたい。 ・ 令和4年度の骨太方針で出ている「指標評価型官民連携」について日本水道協会の「水道施設管理業務評価マニュアル」による事業モニタリングが多くなってきたが、これらの指標評価の活用する官民連携手法について聞いてみたい。 	
--	--

(5) 協議会全般に対する自由意見

協議会全般に対する自由意見を図表 37 に示す。

図表 37 協議会全般に対する自由意見

自由回答	分類
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度第1回の事後アンケートに回答した内容と同じで、官民連携の導入した事業者の事例発表とともに、その事業者との個別の情報交換の場（官官情報交換）を設けていただきたい。 ・ 令和6年度に水道行政の所管省庁が厚生労働省から国土交通省と環境省へ移管する動きについて、また移管に伴って広域化の推進に係る交付金制度の拡充や改廃の動きについて、関心を抱いている。 ・ 協議会のタイムスケジュールが現状でもタイトであるため、午前中から実施する等時間を確保したうえでフリーマッチング等の充実を図っていただきたい。 ・ 他水道事業者との情報交換できる時間を設けて頂きたい。 ・ 公民連携推進のための手順書の説明等、初めて検討する事業者向けに講習会を開催して頂きたい。 ・ よくある質問と回答等を作成し公表頂きたい。 ・ 他民間事業者の参入が望めない状況でもプロポーザル等で進めることがよいのか判断が難しい。 ・ 住民・議会等に対する契約の透明性確保の観点からも、ガイドライン等拠り所になるものがあれば参考になる。 ・ 官民連携を深めていくにつれ、（リスク管理を含む）行政がもつ水道事業運営のノウハウが失われていくなかで、限られた財源で、どのような形で安全な水道水の安定供給をおこなっていくべきなのか。次世代のために例えば、広域化と官民連携のベストミックスを探っていくのか。 ・ PPPに関する内容が多かったので、DX推進に関する内容をもっと充実させてほしい。 ・ 民間事業者とのつながりができ、大変有意義な会議となった。 ・ 水道事業体等が抱える課題は共通する部分が多いと思う。水道事業体間で課題を共有しあえる時間があれば、今後の参考になると思うので、是非そのような時間を設けていただきたい。 	水道事業者等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会の構成について、途中で事業体との協議を挟むよりは、講演パートと協議パートで分けてはどうかと思いました。 	民間事業者

<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演はボリュームを少なくし、事業者との協議により時間を割いて頂く、講演パートだけでもリモート参加可能にする等、自分が逆の立場であれば上記の様な対応が嬉しいと感じる。 ・ 今回、協議会および、協議会の翌日に水道事業者等と官民連携に関する意見交換をしている中で、官民連携手法に対して導入検討の必要性を感じ、これから勉強を始めるないし、始めたところというような話しを複数得た。そのため、協議会の講演の中では、宮城のコンセッションのような事例のほかにも、導入検討水道事業者の参考となるような官民連携手法について、もっと基礎的な内容について説明を行うような講演もあった方が良いと感じた。 ・ 可能であれば、こちらのアンケートが excel で提出ではなく、google アンケートのような WEB フォームの方が PC からでなくとも・メールせずとも答えられるので、回答しやすい。 ・ 令和 5 年度もエリアごとの開催となると思うが、開催エリアの特定の水道事業者での開催とし、施設見学会を兼ねた協議会等面白いと思う。（会議会場や移動用バスの手配等が必要になるとは思うが） ・ 全体の質疑応答を増やしてほしい。 ・ コロナの感染拡大が収まりつつあり、R4 年度の民間企業の参加者は、山形県：27 社、福岡県：31 社、茨城県：25 社、三重県：37 社と増えてきており、来年度も同様の傾向が続くと想定する。一方、本協議会の大きなポイントの一つであるマッチングの時間は当初から変わらず 10 分/回、かつ最大 90 分程度と物足りなさを感じている。そこで、民間企業とのマッチングの機会と時間を十分確保するために、開催時間の前倒し検討をお願いしたい。例えば、午前 10 時半ごろから開催し、毎回定番の説明は午前中に終了する。厚労省・経済産業省の解説・説明等は、午後 1 時ごろから実施する。その後、事業者と民間企業とのマッチング（逆指名によるマッチングも）を実施し、現状の 2 倍程度の時間を持てるようお願いしたいと思う。 ・ 事業者様の有する課題に対して、民間事業者が十分な検討が行えるよう、次の配慮をお願いする。事業者様からの詳細な課題の提示、民間事業者からのソリューション提案のための検討時間確保。 ・ 官民連携を検討している事業毎（例：管路更新、工業用水、下水道、浄水場建設）に水道事業者を絞って開催することはできないか。また、国には官民連携を促進する施策（補助金交付等）のご検討をお願いしたい。 ・ 国、当該都道府県の補助金や交付金担当者のブースを設けていただき、気軽に事業者の方が相談できる機会を設けていただければ、参加事業者が増えるのではないかと。 ・ 第 2 回開催時では、会場のレイアウト変更等で待ち時間が生じ、待機場所もなくエレベーター前で混雑した。参加者が有意義に時間を使えるよう配慮をお願いしたい。 ・ 新たなメニューでなく、多くの自治体様とのマッチング機会の創出をお願いしたい。予め、8 ターン程度回せるようにセットして頂けると助かる。（民間の 1 分間スピーチを無くして、マッチング時間拡大を希望する。提案資料は事前に HP 上にアップされているため） 	
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ PPP の色々な案件を見ていると「リスク」に対する質問、意見が多い印象だが一方でそれに対する回答が明確でないことも散見される。官民それぞれの立場でリスクに対する意見交換の場を設けてはいかがが。 	
<p>プレゼンテーションについて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間企業の取り組みは、プレゼン資料等で十分わかるが、水道事業体の現状と課題等がわかりづらい。事業体のプレゼンが難しいのであれば、各水道事業体の水道ビジョンや水道施設の設備内容、整備計画、更新実績等の情報を提示していただくと、もっと交流が深まり、民間からの提案イメージも深まると考える。 ・ 民間プレゼン時間を長くしてほしい。 ・ 民間事業者からのプレゼンについては、事前にネットで資料と PR 動画を公開した方が当日聞くよりも効果があるのではないかと。 	<p>民間事業者</p>
<p>フリーマッチングについて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングされている民間企業の間で多少の不公平感を感じた。企業様によっては複数の事業者様へマッチングされていたが、弊社は1事業者様のみ等、マッチングの基準等があるのであれば出来るだけ開示頂けるとよいかと思った。 ・ 水道事業者からも事前にフリーマッチング希望を確認して方が良いかと思う。 ・ 今年度の後半より、開催当日に水道事業者へマッチング希望を取られていたのは良い取組みだった。できれば、その結果をホワイトボードに掲載する等して、共有いただけると民間業者が事前マッチング以外の所へ効率的に訪問できると思う。 ・ 民間事業者のプレゼンは廃止して資料配布のみとして、フリーマッチングの時間を増やして貰いたい。 ・ フリーマッチングの時間を充実させていただけると、民間事業者側から課題に対する様々なご提案ができるものとする。 ・ 官民連携は官と民が一同に接する機会として、有用と考えている。マッチングの機会や時間を増やしていただくと良いと考えている。 ・ 民間事業者のプレゼンテーションは資料提供のみとし、フリーマッチングの時間を増やす等お願いしたい。 ・ フリーマッチングの時間を増やして頂きたい。 ・ 今回のフリーマッチングでは、現地で対話ができ、活発に情報交換ができた。ただし、希望が外れた場合は、マッチングするまでに時間がかかったり、対話ができなかったりした。これは、水道事業者数に比べ、民間事業者数が圧倒的に多いためと考える。時間内でより多くマッチしやすい方法をお願いしたい。 ・ 10分間のマッチングだと時間的に厳しい。ずっと同じ形式でマンネリ化しているので、国交省が実施している PPP のサウンディングのような形式にするとか、何らかの変化が必要と思う。 ・ 水道事業者とのマッチング時間が少ないので複数の水道事業者との意見交換ができない。参加企業等のプレゼンテーションについては事前配布の資料で確認できるので、プレゼンテーションは水道事業者のみとして、マッチング時間を増やしてはいかがが。 	<p>民間事業者</p>

<ul style="list-style-type: none">・ 民間事業者の分類（調査設計、土木建築、機械電機、管路、給水装置、運営等）を民間事業者につけることで、水道事業者等の参加者がフリーマッチングしやすいのではないか。・ マッチングの時間帯で待ちの時間を有効に使いたかったので、別の部屋で民間同士の交流の場や、企業のパンフレットを置く場等何か情報を得られる空間があっても良いのかと感じた。	
--	--

3. 今後の協議会開催に向けた留意事項

事後アンケート及び総括アンケートでは、様々な意見が寄せられたが、それらの集計結果をもとに、全4回の協議会において改善を図った事項を示す。また、次年度以降に協議会を開催する上で継続して留意すべき事項についても以下に述べる。

3.1. 今年度において改善を図った点について

各協議会の事後アンケート集計結果を踏まえ、改善できる点については次回以降の協議会に活かすことを心がけた。具体的に改善した点を以下に示す。

- ・ 民間事業者からのプレゼンテーションの制限時間の厳格化
「制限時間である1分間を守らない民間事業者が多くて不公平である。」という意見を受け、タイマー及びベルを用意し、制限時間の厳格化を実施した。
- ・ フリーマッチングにおけるマッチング希望先の聞き取り実施
フリーマッチングにおけるマッチング希望先について、「水道事業者は固定席で民間事業者を待つしかなく、自分たちから希望先を選べない。」という意見を踏まえ、当日、事務局が水道事業者に対してマッチング希望先を聞き取り、名前が挙げられた民間事業者へ指定の水道事業者ブースへ向かうよう依頼することで、水道事業者の要望にできる限り答えられるようにした。
- ・ 民間事業者からのプレゼンテーション資料のフォーマット変更
プレゼンテーションの発表資料について、「協議会当日にスクリーンに投影した際、縦のフォーマットだと見にくい。」という意見を踏まえ、WordのA4縦からPowerPointのA4横へ変更し、スクリーン投影時の視認性を向上させた。
- ・ フリーマッチングにおける休憩時間の設定
フリーマッチングにおいて、「1人で対応していると大変であるため、休憩時間が欲しい。」という意見を踏まえ、4巡目終了後に休憩時間を設けた。

3.2. 参加者について

今年度を実施した全4回の協議会の延べ出席者数は406名であり、その内訳は水道事業者等が116名、民間事業者が281名、その他団体が9であった(図表1)。

官民連携に関する情報交流の場として協議会を有効に活用するためには、官民ともに多くの参加者の出席が望ましいが、会場の収容人数の制約があったため、民間事業者の参加者を1社当たり2名とした。

アンケートによると、水道事業者の参加が少なく、民間事業者のフリーマッチング面談回数が少なく、時間も短いという意見も多く見られた。このため、今後水道事業者の参加をさらに促し、民間事業者の参加団体数とのバランスを取るといった工夫が必要と考えられる。

以上のことを踏まえ、水道事業者の参加を促進するため、厚生労働省や都道府県の水道行政担当部局から積極的に働きかけることが必要と考えられる。

3.3. 民間事業者によるプレゼンテーションについて

今年度も昨年度に引き続き、民間事業者によるプレゼンテーションを行った。これは官民連携に関する自社の取組みをPRするものである。発表を希望する民間事業者が多数あったため、1社当たり1分間の持ち時間で発表を行った。

アンケートによると、多くのプレゼンを聴くことができたという前向きな意見もあったが、プレゼンテーションの時間が1分間では短い、事前に資料をいただいているのでプレゼンテーションは不要である、水道事業者からのプレゼンテーションもあれば良い等の意見があった。

3.4. フリーマッチングについて

今年度も昨年度に引き続き、フリーマッチングを行った。

アンケートによると、多くの事業者とコミュニケーションを取ることができたという前向きな意見もあったが、時間が短いまたは長い、面談回数が少ない、パーティションは不要である、水道事業者が民間事業者を選んで回る機会がほしい、休憩時間がほしい、配置変更時の待機スペースが狭い、水道事業者どうしの時間がほしい等といった意見があった。

3.5. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策として以下に挙げる様々な対策を講じた。

- ・ マスクの着用
- ・ 受付時の検温
- ・ 高熱等の症状がある場合の参加お断りの周知（37.5℃以上）
- ・ 手指の消毒
- ・ 換気（扉や窓の開閉）
- ・ 机及び椅子の離隔の確保
- ・ 机及び椅子の消毒
- ・ フリーマッチングにおけるパーティション設置